

信託法案外十一件特別委員會議事速記錄第二號

大正十一年三月二十日(月曜日)午後一時二十二分開會
○委員長(伯爵夫人玉秀雄君) ソレデハ開會イタシマス、前
會ニ引續キマシテ信託法ノ御質問ヲ願フ筈アリマスガ、
信託法ノ御質問ハ大分賛成ミマシタカラ、今日ハ信託法案ト
信託業法案ト一括シテ御質問ヲ願ニタイト思ニマス

○倉知鐵吉君 簡單ナ問題ニ付テ二三點御尋ネシタ如ク、又私モ前會ノ時ニ質問ノ中ニ申シタ通り、現在ノ信託會社ナルモノハ、其實信託會社デナインデアリマシテ、名ハ信託會社ト稱シテ居リマスガ、此法案ニ依テ信託會社ト違タ業務ヲ營ンデ居ルト云々テモ宜イカト思ヒマス、若シ幾分固有信託ヲ行ウテ居ルモノトシマシテ、業務ノ大部分ハ此廣汎ナル範囲ノ事業ヲヤツテ居ルヤウニ思フ、ソニデ新規ニ今後信託業務ヲ營ム者ハ此法案ニ依テ覺悟シテ居ルノデアリマシテ、ソレデ差支ナイ譯アリマスガ、既設ノ五百十餘ノ信託會社ナルモノガ此業法ノ下デハ到底營業ヲ繼續スルコトハ出來ナイダラウト思ヒマス、私ハ又出來ナクテモ宜イト思ヒマス、本當ニ固有ノ信託業ヲ營ム者ハ此法案ノ下ニ働くガ宜シイカ、他ノ業務ヲ營ンデ居ル者ハ新法ノ制定ヲ機會ニ定欵ヲ改メ、信託會社ノ號ヲ削テ他ノ商事會社ニ移ツタ方ガ宜イト思ヒマス、ドウデセウカ此五百十餘ノ中ドノ位ナ引継イテ信託會社トシテ新法ノ下ニ繼續スルヤウナコトニナリマセウカ、私共ノ見ル所デハ大多數ハ轉業スルト申シマセウカ、信託會社デナクテ營ムト思ヒマスガ、ソレヲ決シテ惡イト云フノデハアリマセヌガ、大體ドウ云フ風ニナル御見込デアリマセウカ此點ヲ一ツ伺ヒタイソレカラ第二ニハ只今申上ゲルヤウナ現在ノ信託會社ノ中、直チニ看板ヲ變ヘテ他ノ業務ニ移ツテ差支ナノモアリマセウガ、其業務ノ一部ノ極ク輕少ハアルガ、新法ニ依テ支配セラルベキ部分ヲ持テ居ル會社モアルト思ヒマス、看板ヲ變ヘヤウトシテモ變ヘヤウガナイカラ困ツテ居リナガラマスガ、是ハドウ云フモノデセウカ先達ツテノ御説明ニ依トモ、何トカ此新法ニ準ジテ行カナケレバナラヌト思ヒマスガ、サウシマスト是等ノ會社ガ自分ノ業務ヲ整理シテ行クマデニ、多少ニ有益ニ何デモ設ケハ付カヌデナカラウト思ヒマスガ、是ハドウ云フモノデセウカ先達ツテノ御説明ニ依トモ、本法ハ來年一月一日カラ施行スル豫定ニナツテ居ルト云フコトデアリマシテ、ソレカラ後ニ尙ホ少シノ猶豫期間ハアルヤウデアリマスガ、整理ノ期間ト云フモノガ六箇月ヤソコラノ間ニ十分アルデアリマセウカ、如何デアリマセウカ、

若シ十分デナイト云コトデアルト、看板ヲ變ヘヤウニモ信託法ニ上テ居ル爲ニ、新法ニ依ルトスルト困難ナコトニナリハシナイカ、其邊ハドウ云フコトニナルノデアリマセウカ、此ニ點ヲ伺モマス。

○政府委員(黒田英雄君) 御尋ノ第一ノ方ニ付キマシテ、先づ御答申上ダスマスガ現在ノ信託會社ガ營ンデ居リマスル業務ハ、御話ノ通り今回是等ノ法規が制定ニナリマスルト申スコトガ出來ナイモノガ、非常ニ多イノデアリマス、又嚴格ニ申シマスレバ、今日ハ信託ト云フ觀念ガ法律ニ依ツテ定マッテ居ラナイノデアリマスカラシテ、今日營ンデ居リマスル業務ニ直チニ其信託ト申スコトハ出來ルモノハ殆ド或ハ無イト云々テモ宜イヤウナ状況デハナイカト思フノデアリマス、只今日營ンデ居リマスル業務ノ中デ殊ニ最近ニ起リマシタ業務、又將來大ニ發展スルダラシテ我々ガ考ヘテ居リマスル業務ハ、信託法ガ出來マスナラバ、即チ信託ニナルベキ者、今日ハ法規ガアリマセヌカラ、嚴格ノル信託ハ出來ナクトモ、法規ノ申ニ信託ヲ以テ律スル者ガ出来ルト云フ仕事ガ相當ニアルノデアリマス、是ガ今後信託會社トシテ重大ナル業務ト致シマシテ、將來法ノ下ニ發達シテ參ル業務デアルト考ヘテ居リマス、故ニ今日ノ信託會社ガ新法施行後ニ於キマシテハ、ドレ位信託會社トシテ残ル者ガアルダラウカト云フ御話デアリマスガ、之ニ付キマシテハ今日信託會社ニ付キマシテ、前ニモ申上ダマシタ通り、監督權ヲ持ツテ居ラヌノデアリマスカラ、先刻ノ五百餘ノ者ニ付キマシテ、一々正確ナル調ベラ致スコトハ困難デアリマス、其爲ニ果シテドレ位ガ殘ルダラウカト思云フコトヲ、茲ニ明ニ申上ダルト云フコトハ困難ナヤウニ考ヘマスガ、大體今日ノ五百餘ノ申ノ三百餘ハ二十五万圓ノ資本ノ者デ隨分イロ／＼ナコトヲシテ居ル者ガ多イノデアリマスカラ、是等ハ勿論信託會社トシテ残ルコトガ出來ナイ者グラウト考ヘル又會社ソレ自體ガ殘ルモノト致シマシテモ、認可スルト云フコトハ困難ナイカト思フモノモ見受ケルノデアリマス、相當將來ハ滅ズルデアラウト考ヘテ居リマス、併シドレ位ニナルダラウカト云フコトニ付テハチヨット申上ゲル材料ヲ持タナインデアリマス、ソレカラ第二ノ點ニ付キマシテ今日營ンデ居リマス色ンナ業務ハ信託會社トシテヤッテ居ル上ニ於テドウナルカト云フ御尋ネット了解致シマシタガ、新法ニ依ツテ今日ノ信託會社ガ認可ヲ受ケル場合ニ於テ、既ニ營ンデ居リマス所ノ、新法

ガ認メナイ所ノ色々ナ業務ニ付テハ之が終了スルマデ繼續シテ行クコトガ出來ルノデアリマシテ、新タニ法案ノ認メナイ仕事ヲスルト云フ事ハ出來マセヌ、既ニ繼續シテ居ルモノハ之ガ終了スルマデハヤッテ行ケルコトニナルノデアリマス、ソレカラ一般ニ今日信託法ニ依ツテ將來信託業トシテ看做サレルヤウナコトヲ今日ヤッテ居ル會社ガ、新法ニ依テ信託會社トナラズシテ……云フ御尋不テアッタと思ヒマス、此場合ニ於テハ勿論信託ト云フモノヲ營業スルコトハ出來ナイノデアリマスガ、既ニ引受ケテ居ルモノニ付テハ是ハ終了スルマデヤッテ宜シイ、從來ノ立法ニ依リマストスウ云フモノニ付テハ此法律ニアル條文ヲ適用シテ居タノデアリマス、併シ最早新タニ引受ケルノデナイン、營業トシテヤルノデナイカラ、今マデ引受ケテ居ルモノノ整理事スルノデアルカラ之ヲ適用スルモノデナカラウ、今度ハ引續キマシテ前ノ整理ヲスル迄ハ整理シテ宜シイト云フコトニナルノデアリマス、無論ソレハ純然タル信託デアリマスレバ信託業法ニ致シマシテハ整理ヲシテ居ルモノダト云フコデ、整理スルマデハヤッテ宜シイト云フコトニ致シテ居ルノデアリマス

○政府委員(黒田英雄君) ソレハ法規ノ中ニ規定ハアリマセヌガ、サウ云フ場合從來モサウ云フ解釋ヲ取タ例モアリマシテ、今マデニ引受ケタモノノ整理ヲシテ行クト云フコトハ營業スルモノデナイ、營業ト言ヘバ新タナ申込ヲ受ケルト云フ場合ヲ言フノデアル、既ニ法律ガ變ツタ爲ニ今マデヤタコトヲ整理スル場合、整理ト云フモノハ業トスルモノデナイ、此法律ヲ適用シナイ考ヲ有テ居ル、此點ハチヨット脇道ニ這入ルカ知レマセヌガ、例ヘバ買入レノ仕事ヲ制限シテ居リマスガ、買入レヲスルコトニ付テノ制限デアルカラ、既ニ買テ居ルモノハ是ハ仕方ガナイ、買テ仕舞タノデ元ニ引戻サナクテモ宜イ、唯ソレハ制限以外ニ於テ新タナ買入レガ出來ナイト云フ解釋ヲ致ス積リテアリマス、ソレト同ジヤウニ業トスルモノデナイカラ法律ヲ適用スルコトハ出來ナイト云フ解釋ノ上カラ參ルノデアリマス

○倉知鐵吉君 モウ一箇條御尋ネシタイト思ヒマス、既設會社ガ轉業イタシマセヌデ、新法ニ依ツテ新タニ許可ヲ受ケ

2

マシテ、矢張信託業者トナフテ行ク場合ニ於テノ規定デアリ
支ナイ譯デアリマスガ、少クトモ豫想シテ居ナカッタ既設會
社ガ新法ニ依レバ急ニ第七條ノ規定ニ應ゼナケレバナラ
ヌ、斯ウ云フコトハ隨分困難ヲ感ズルモノト思ヒマス
○政府委員(黒田英雄君) 是ハ信託會社ガ新法ニ依リマシ
テ此業務ヲ免許ヲ受ケマシテカラ、此供託ヲ致サナクチヤ
ナラヌノデアリマスガ、ソレニ付キマシテハ只今御話ノヤ
ウナ直ク之ヲ供託セズ、金額ノ供託ヲ付スルト云フコトハ
或ハ苦痛デアラウト云フコトデ、衆議院ニ於キマシテモ命
令ノ定ムル所ニ依リト云フ文字ヲ入レルト云フ修正ガアッ
タノデアリマスニ付キマシテハ其命令ヲ以チマシテ或
ル期間ノ運用ヲ與ヘル、或ハ分割ヲシテ之ヲ定メルト云フ
風ナ餘裕ヲ認メ、越旨ヲ以チマシテ此修正ニ同意イタシタ
ノデアリマス、此命令ノ規定ニ依リマシテ衆議院ニ於テ申
シマシタノハ、大體一年位ノ中ニ分割シテ定メルト云フ餘
裕ヲ與ヘタイ考ヲ以テ居ルノデアリマス
○倉知鐵吉君 只今ノ衆議院ノ修正ノ所ハ承知シテ居リマ
スガ、政府ノ大體ノ御見込デスネ、マア二年位ノ御積リデ御
ニ出ナルノデスカ、ドウ云フ風ニ……
○政府委員(黒田英雄君) 是ハ極ク大體ノ考デアリマス、
大體マア二年位デ宜シクハナイカト云フ考ヲ有ツテ居ルノ
デアリマス
○早川千吉郎君 信託業法ノ法律ノ下ニハ重役ノ責任ト云
フコトガ餘り明カデナインデアリマスガ、取締役、例ヘバ貯
蓄銀行ノ時ハ隨分ト此決算ガ済ムマデ、或ハ一箇年、二箇年
モ其責任ヲ負フト云フコトガアタヤウニ思ヒマスガ、此信
託業法ノ何デアリマスカ、重役ハ責任ト云フモノハ別段普
通ノ株式會社ト變ラナイノデアリマスカ、チヨット御尋不致
シマス
○政府委員(黒田英雄君) 信託會社ニ於キマシテハ貯蓄銀
行ト違ヒマシテ信託ヲ受ケテ居リマス信託財産ニ付キマシ
テハ、信託法ニ依リマシテ其財産ノ管理ノ不届デ生ジマン
タ損害ニ付テハ、其事ニ干與シタ所ノ取締役ハ會社ト連帶
シテ責任ヲ帶ビルト云フ規定ガ信託法ニアルノデアリマ
ス、其規定ノ結果信託會社ニ於キマシテ信託財産ニ損害ヲ
與ヘマシタ時ニ、重役ト會社ト連帶シテ責任ヲ帶ビルコト
ニナリマス、ソレニ貯蓄銀行アタリノ貯預金ニ對スル重
役ノ責任ト同ジ結果ヲ納メルコトガ出來ルダラウト云フ考
ヲ以チマシテ、業法ノ方ニハ特ニ規定ヲ設ケナカッタ次第デ
アリマス
○菅原通敬君 信託業法ヲ制定セラレタ趣意ハ、一方ニ信
託業ノ健全ナル發達ヲ圖リ、他ノ方ニ今日信託會社ト稱ス

アルモノ、ヤツテ居ル業務が亂雜ニアリ弊害ヲ生ズル虞レ
アルカラ、之ヲ取締テ行カウト云フニツノ目的ニアルト云
フコトハ屢々承ハッテ居ルコトニアリマスガ、然ルニ先程倉
知君カラ御尋ニナッタヤウニ、現在ノ五百バカリノ信託會社
ノ中、此業法ノ適用ヲ受ケテ、將來信託會社トシテ繼續シテ
行クベキモノト云フモノハ、政府委員カラ言ハル、トソレ
ハ分ラスト仰セラレルガ、兎モ角残ルモノハ極少數デアト
ハ轉業若クハ廢業シテ行クモノニアラウ、サウンシテ廢業ハ
格別轉業スル者ハドウナルト云フト、固有信託業ヲ除イタ
業務ヲ營ム、今日ノ信託會社ト云フモノハ固有信託會社ヲ
營ンデ居ルモノハ極僅カズ、殆ド無イト言フテ、モ差支ナイ、
サウンシテ見ルト今度信託會社ノ名前ヲ出シテ何ヲスルカト
言フト、前ニヤラナカッタ固有信託業務ハ其儘ニヤラズニ居
ル繼續シテ從来信託會社ガヤツテ居タ亂雜ナル各種ノ業務
ヲ營ンデ行ク、斯ウ云フコトニナルト、ソレニ對スル取締ト
云フコトハ出來又コトニナッテ居ル、從來ノ通リノ亂雜ナル
前モ私申シマシタ通り、何所マデモ信託會社法デナケレバ
ナラヌ、信託會社ト云フモノヲ取締テ行クトスルト、此信託會社ヲ折角作
ラレテ、サウ云フ風ナ弊害ヲ矯正シ、取締ヲ立テ、行カウト
云フ目的ハ達セヌヤウデス、此業法ガ餘リニ嚴格デアルガ
爲ニ、此業法ノ監督ノ下ニ立ツト云フモノハ極メテ少數デ、
他ハ多ク其名ヲ脱シテ仕舞フト云フコトニナツテ仕舞タナ
ラバ此業法ヲ作ラレタ目的ト云フモノハ、今申ス通り全ク
達スルコトハ出來ヌ、之ヲ取締テ行カレルヤウナ何力法規
デモ御作リニナルト云フヤウナ御考モアルノデアリマス
カ、其所ヲ一ツ伺ヒタイ

○政府委員(黒田英雄君) 只今御質問ノ中ニ此法規ガ制定
ヲサレタナラバ、今日アル所ノ五百有餘ノ信託會社ノ大部
分ハ轉業若クハ廢業ヲシナケレバナラヌト云フ御言葉デア
リマシクガ、是ハ轉業廢業ト申シマスルヨリモ寧ロ信託會
社ニナラヌト云フ言葉ノ方ガ適當デハナイカト考ヘルノデ
アリマス、ソレハ今日營ンデ居リマスルモノデ所謂信託ト
云フモノヲヤツテ居ラヌモノモ隨分澤山アルノデアル、是等
ハ唯商法ノ中カラ信託ト云フ名前サヘ取テ仕舞ヘバ宜シ
云フ考ヲ持テ居リマス、是ハ唯言葉ノ上デアリマスガ、併
シ實質ノ觀念ガ多少其所ニ私ノはカラ申述ベルコトニ誤解
ヲ惹起スト困リマスノデチヨット申上ゲマス、サウ云フ風ナ
次第アリマスカラ是カラ取締テ行カウト云フノハ、即チ

信託ト云フモノヲ營ンテ居ルヨリノテ取締タヘレバ此等
最モ此弊害ヲ起シマスルノハ所謂信託、今後信託法ガ出來
レバ信託法ノ下ニ律スベキ行爲ヲ今日致シテ居リマスルモ
ス、其部分ヲ營ンデ居ルモノヲ取締リタイ、其部分ヲ營ンデ
居リマスルモノハ自然ニ他ノ業務ヲ營ムコトニ付テノ制限
ヲ受ケルト云フコトハ、前ニモ申シタノデアリマシテ、
廣ク唯信託ト云フ名前ヲ附ケテ其迄ノ仕事ヲ茲デ以テ制限
シテヤラウト云フ意味デハナイノデゴザイマス、其點ハ十
分ニ御諒解ヲ願ヒタイト思ヒマス、サウシテ信託ト云フ仕
事ヲヤフテ居ラヌモノ、將來モヤラヌモノニ付マシテハ、今
日ニ於キマシテハ特ニ之ヲ取締テ監督シテ行カナクチヤ
ナラヌト云フ迄ノ必要ヲ見テ居ラヌノデアリマス、今在ル
所ノ會社ガ信託ト云フコトヲ取フテ從來ノ業務ヲ繼續シテ
行クト云フコトニ付テハ、特ニ茲ニ取締ノ法規ヲ設ケル必
要ヲ認メテ居ラナノデアリマス、唯繰返ヘシテ申スヤウ
デアリマスガ、信託ト云フ觀念ヲ以テ今後律シヤウト云フ
仕事ヲシテ居ル者ノミニ付テ監督ラシ、サウシテソレ等ノ
者ガ色ムナ仕事ヲ行フト云フコトヲ制限ヲシタイト云フ考
カラ出テ居ルノデゴザイマス

○菅原通敬君 只今政府委員ノ前段ニ御答ヘニナリマシタ
コトハ、自カラモ仰セラレル通り、ソレハホンノ言葉ノ立テ
方ノ問題デ、轉業ト云ヒ廢業ト云フ意義ハ明カナコトデ、ソ
ンナコトニ咎メ立テサレルト云フコトハ穩カナイト思フ
ガ、要スルニ私ノ言フノハ今日五百ト云フ信託會社ノ中、成
程二十五万圓以下ノ資本ノモノガ三百有餘アリマスカラ、
是等ハ無論廢業スルナリ他ニ轉業スルナリ、ソレハマア當
然法律ノ結果デアリマセウ、併ナカラ此法津ニ於テ資格ヲ
制限シテ居ル、所謂資本金百万圓以上、其資本金百万圓以上
ト云フ様ナモノハ、信託會社トシテ將來ニ發達セサセテ行クト
キ、信用モアルモノト見ナケレバナラヌノデアルカラ、是等
ノモノハ何所マデモ助成サセテ、サウシテ此信託機闇トシ
テ、又一方金融機關トシテ、サウシテ之ヲ發達セサセテ行クト
ガ、私ノ記憶スル所ニ於テハ「十有餘アラウト思ヒマス、其
中ノ十九會社ト云フモノハ信託會社協會ニ屬シテ居ル、此

信託會社協會ニ屬シテ居ル所ノ十九カ二十バカリノ信託會社ト云フモノハ、殆ド實際ニ若シ此通りノ法律ガ布カレルコトデアルナラバ、モウ看板ノ塗換ヘアシナケレバナラヌト云フ斯ウ云フコトヲ言ッテ居ルコトガ實際デアル、詰リ信託會社ト云フ名前ヲ止メテ仕舞ハウ、斯ウ云フヤウナ嚴重キ範圍ガ頗ル狭バメラレ、而シテ自分固有ノ財産ヲ運用スペシト云フコトデアッテ、何モ共に目的ニハ適ハヌモノデアッテ内容トシテ廣ク業務ト云フ信託業務ヲヤル爲メニ信託會社ノ名前ヲ頂戴シテ居ル必要ハナイ。固有信託業務ト云フコトハ止メテ、所謂附隨業務其他ヲ、一般信託會社ガヤッテ居ル業務ヲ自由ニ營ム、サウンテ一般商事會社トシテ行ク方ガ餘ホド有利デアルト云フヤ數ノモノヲ信託會社トシテ區分セシメ、サウシテ信託業ノウナ今日實際ノ狀況デアルノデ、信託會社ノ信託業法ヲ制定セラレル以上ハ鬼ニ角斯ウ云フヤウナ百万圓以上ノ信託會社ト云フヤウナモノ、全部ハ……成ルベク全部或ハ大多數ノモノヲ信託會社トシテ行ク方ガ餘ホド有利デアルト云フヤ監督ノ下ニ立タシメテ行クト云フコトデ始メテ法ノ目的ヲ達スルモノデハナイカト思フ、ソレガ殆ド全部ノモノガ他所ノ看板ヲ掛け替ヘナケレバナラヌト云フヤウナサウ云フ法律ヲ作ラレルト云フコトハドウシテモ時勢ニ合ハナイ甚ダ不穩當ナ立法デアルト云フコトト言ハナケレバナラヌノデアリマス、而カモ政府委員ノ説明セラレル所ニ於テモ今日ノ信託會社ノ大多數ト云フモノハ殆ド信託事業ヲヤッテ居ルモノハ少ナイ、少ナイト云テ居リナガラ其固有業務ヲ營ンデ居ル其固有業務ニ矛盾シテ居ル仕事ヲ行ナシテ居ルト云フ事ニ付テ、取締テ監督シテ行カナケレバナラヌ故ニ此取締法が必要グスウ言ハレル、而シテ一方ニ固有信託業務以外ノ業務ヲヤッテ居ルモノハ、トンナ勝手ナ事ヲヤツテモソレハ構ハスト云フ譯ダ、其方ニ對シテ取締ヲスル必要ガナイノデアルスウ言ハレル、ソニ又大ナル矛盾ガアル様ニ私ハ考ヘル、一方ニハ固有信託業務ヲヤッテ居ルモノハナイ、殆ドナイ、アルニシテモ極ク少數ダ、是ヲ取締ラナケレバナラヌ爲メニ其法律ヲ設ケルト言フテ居ル、而シテ實際今日ノ會社ノ弊害ヲ若シ世間ガ認メ居ルト云フ事デアルナラバ其固有信託業務ヲヤッテ居タクト云フコトデナシニ他ノ業務ヲヤッテ居タ事ニ付テソコニ弊害ガアルノダ、其他ノ弊害アル業務ノ方ヲ取締ラゼシテ今迄殆ドヤッテ居ラナカツタ固有信託業務ヲ取締ルノテ信託業法ヲ作ルト云フコトハ全クソコハ意味ヲ爲サヌコトニナリハセヌカト思フ、其邊ハ……是ハ意見ヲヤアリマセヌ、事實問題ニ付テ御覽ナサリ方ガ大分違テ居ルヤウデアル、若シサウ云ウヤウナ事實ノ御覽ナサリ方ガ違テ居ラテ其前提ノ下ニ此法案ガ立案サ

レテ居ルト云フコトニナレバ實際ニ適スル法律トハナラヌノデアリマス、ソコヲ能ク御尋シテ置カナイトイカヌカラコトテ置キタイ

○政府委員(黒田英雄君) 先づ初メニ百万圓以上ノ信託會社ガドレ位アルカト云フ御話デアリマス、是ハ今日ニ於キマシテ、只今菅原サンハ一十餘ト云フ御話デアリマスガ、私ノ調べニ於テハ七十六アルノデアリマス、サウシテ是等ノ會社ハ大ナル資本ノ會社ガ段々此頃起ソテ來タノデアリマスガ、是等ノモノハ、多ク今後固有ノ信託トシテ見ルベキ仕事ヲ盛シニ營ムヤウニナクテ來タノデアリマス、從來アリマシタノハ御話ノ通り成程固有信託デナカタモノガ澤山アルノデアリマス、此頃起テ來テ居リマスモノハ大資本デアテサウシテ將來信託ト認ムベキ仕事ヲ行ナツテ居ルノデアリマス、是等ニ對シテハ相當ノ法規ヲ設ケルト云フコトハ必要デアルノデ今回此法案ガ提出サレタノデアリマス、吾々ガ其弊害アリト云フコトヲ申シマスルノハソレ等固有信託ヲ營ミマシテイロイロナ仕事ヲ何等ノ監督ナシニ各種ノ仕事ヲ營ムト云フコトハ危險ヲ生ズルト云フコトヲ申シテ居ルノデアリマス、又現ニ是等ノ大資本會社ニ於テモ吾々ハ相當寒心スベキ事例ヲ認メテ居ルノデアリマス、ソレ故將來必ズは等信託ノ仕事ヲ行ナヒナガラ一方ニ各種危險柄ガ出テ居ルノデアリマス、少シモ其間ニ矛盾ハナイヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス

○菅原通敬君 成程此調べニハ百万圓以上ト云フコトモアリマス、ツイ私ハ見ナカタノデアリマスガ、百万圓以上ガハ臺灣ニアルモノモ這入アテ居リマスガ、マダ臺灣ニハ御施行ニナル積リデハナカラウト思ヒマスガ、此信託會社調べト云フモノデ斯ウ云フ處ガ出來テ居ル此内容ニ付テ私ハ伺ナイ苦ト思フテ居リマス、或ハ既ニ御承知デアリマセウガ、

信託會社協會ト云フモノガアリマシテ、百万圓以上ノ信用

アリ確實ナル會社ニアリマシテハ皆總テ糾合スル方針ヲ執テ居ルノデアリマスカライロ／＼信託會社ト稱スルモ

ノカラ加盟ノ申込ミナドヲ受ケル場合ガアリマシテモ、吾

吾ノ方ニ於テサウ云フモノハ吾々ノ言フ信託會社ト云フモ

ノデハナイ、又信用ノ上ニ於テ大ニ疑ガアルノダラウト云

フノデ、全會一致デナケレバ入會ヲ許サヌコトニナツテ居

マス爲メ、入會シテ居ラナイ者ガ澤山アルノデアリマス、サ

ウ云フモノマデ矢張含メテ居ルモノト思フノデアリマス

ガ、ソレハマア姑ラク措イテ兎ニ角私ガ申ス所ノ此固有ノ

信託會社ト云フモノ、多數ガ營業ヲ繼續シテ行クコトガ出

來ルヤウナコト迄考ヘテ居ルノデハナクシテ、矢張リ百万

圓以上ト云フヤウナモノテ吾々ガ當業者トシテ信用モ實力

モ備タモノデアルト、斯ウ見テ居ル所ノ是レ等ノ會社ハ多

スガ、是等ノモノハ、多ク今後固有ノ信託トシテ見ルベキ仕

事ヲ盛シニ營ムヤウニナクテ來タノデアリマス、從來アリマ

シタノハ御話ノ通り成程固有信託デナカタモノガ澤山ア

ルノデアリマス、此頃起テ來テ居リマスモノハ大資本デア

テサウシテ將來信託ト認ムベキ仕事ヲ行ナツテ居ルノデ

アリマス、是等ニ對シテハ相當ノ法規ヲ設ケルト云フコトハ必要デアルノデ今回此法案ガ提出サレタノデアリマス、吾々ガ其弊害アリト云フコトヲ申シマスルノハソレ等固有信

託ヲ營ミマシテイロイロナ仕事ヲ何等ノ監督ナシニ各種ノ

仕事ヲ營ムト云フコトハ危險ヲ生ズルト云フコトヲ申シテ

ハ必要デアルノデ今回此法案ガ提出サレタノデアリマス、吾

々ガ其弊害アリト云フコトヲ申シマスルノハソレ等固有信

託ヲ營ミマシテイロイロナ仕事ヲ何等ノ監督ナシニ各種ノ

コトガ理由デアルノデアリマス、此處ノハ今日營んで居ルモノ、大部分ヲ茲ニ認メテ居ルノデアリマスカラ、私ハ唯抽象的ニ是ハ我々モ同感デアッテ、營業スル所ノ仕事ヲ認メテ居ルト云フコトヲ申上ゲル外仕方ガナノデアリマス、ソレカラ何故ニ色々危険ナ雜業ヲ取締ラナイカト云フ御話デアリマスガ、雜業ノミヲ營ンデ居ルモノニ付テハ是レハ自ラ他人關係デアリマシテ、ソレ等ハ大シタ弊害ヲ一般ノ經濟社會ニ及ボスコトハナイ、唯局部ノノ小サイ害ハアリマセウガ、併ナガラ經濟界全體ニ非常ナル影響ヲ及ボスト云フ程度ニハ達シテ居ラヌト思ヒマス、唯他人ノ信用ニ付テ財産ヲ預クタ者ガソレガ色々危険ナ仕事ヲシテ、ソレ等ノ財産ニ影響ヲ及ボスコトニナルト、延イテ經濟界ニ悪イ影響ヲ及ボス、ソレガ今日最モ取締ヲ要スル急務ナモノデアリマスガ、雜業ノミヲ營ム者ニ他日弊害ガ生ジタラ是等ニ對シテ他日法規ヲ造ル必要ガ生ズル時モ無イトハ申上ゲラレタノデアリマス、サウ云フ時ニ來ルカト思ヒマスガ、今日ノ業務ハ所謂一つノ銀行ニ類シテ居ルコト、而カモ銀行ハ相當監督ヲ致スガ、信託會社ハ監督ヲ受ケズシテ銀行ノ事ヲ行フテ居ルノガ一ツノ點デアリマスガ、ソレ等ハ相當ナ監督取締ヲ設ケルコトガ今日ノ急務デアルト考へテ居ル次第デアリマス、ソレ故ニ信託會社ハ先程御話ガアリマシタ通り今日ハ信託會社ト稱スルモノガ多數入テ居ルト思ヒマス、ソレ故ニ餘り信託デ無イ仕事ヲ行フコトモアルヤウデアリマスカラ、サウ云フモノハ今日相當會社トシテ……色々他ニ信託會社ト云フモノハ、ア、云フモノガアルカト云フコトヲ申サレテ居ル、相當大キナ信託會社ガ我々ノ目カラ見テ信託法ヲ適用スル上ニ於テ信託ノ業務ハ少シモ行フテ居ラヌト云フ風ニ申サナケレバナラヌヤウナ會社モアリマス、ソレカラ又信託協会ニ屬シナイモノノデ隨分信託法ノ上カラ見ルト、信託ト申上ゲナクテハナラヌヤウナ仕事ヲ行フテ居ルモノガ大キナ會社ニ澤山アルノデアリマスカラ、是等ニ對シテ即チ前申ス如キ理由ノ下ニ信託ヲ營ム上ニ於テ適當ナ營業ノ業務ハ認メマスガ、危険ナ業務ハ具體的ノ問題ニ付テハ尙ホ特ニ細カク御尋ラシナケレバナハ第四條第五條ヲ審議スル場合ニ於テ私ハ申上ダマスガ、止メタイト云フ趣旨カラ出テ居ルノデアリマシテ、更ニ如何ナル業務ガ最モ適當ナ業務デアッテ、ソレガ認メテナイト云フ具體的ノ御意見ヲ承レバ又ソレニ對シテ私ノ意見ヲ申上ゲマス

ルモノヲ何等取締モ監督モ無イ所ニ置イテ銀行類似ノ業務
ヲ營ムノハ弊害デアリマス、所ガ今度ソレカ、信託會社ノ看
板ヲ外シテ、サウシテ他ノ普通ノ商事會社トシテ、サウシテ
銀行類似ノ業務ヲ營ム場合ニ於テハドウナサルカ、一方取
締ヲ立テルカラト云ツテ法律ヲドウスルカト云フト、法律ヲ
清ツテ他ノ會社ガ又銀行類似ノ業務ヲヤルト云フコトモ是モドウモ止メ
ズ起ルニ達ヒナイ、現ニ今信託會社協會ニ屬シテ居ル會社
ノ中デモ斯ウ云フコトデ現ニ計画シテ居ル、會社トシテ借
金ヲスル、借入金ヲスルト云フコトハ、是ハドウモ止メヤウ
ガナニ、又一方ニ貸金ヲヤルト云フコトモ是モドウモ止メ
ヤウガナニ、巧ニソコノ間ヲ操ツテ行クト云フコトハ、信託
預金ト云フヤウナ窮屈ナル拘束ヲ受ケナイデ、信託業法
ノ嚴重ノ取締ヲ受ケズニソレガヤッテ行ケル、其方ガ餘程得
ダ、斯ウ云フヤウナコトモ現ニ言テ居ル、ソレハ何カト云
フト此ノ方ノ監督ガ第一ニ嚴重デアルカラ、寧ロソンナ嚴
重ナ監督ノ下ニヤルヨリモ其方ガ有效ダカラト云フコトデ
ヤルノデアル、其最モ困難ナ問題ハ今ノ業務ノ範囲ノ狭イ
ト云フコトデアリマスガ、其コトハ後ニ尙ホ御話ヲ致シマ
スガ、例ヘバ供託金問題ノ如キ百万圓ノ資本ヲ有テ居ルト
十分ノ一ノ十万圓ノ供託ヲシナケレバナラヌ、百万圓ノ資
本トスルト、普通二十五圓ノ拂込ヲヤッテ居ル、其中十万圓
ハ公債デ供託トシテ預ケナケレバナラヌ、ソレハ五分カ三
分ノ利廻リニシカナラナイ、而カモアトノ十五万圓ヲ以テ、
此會社トシテヤッテ居ル以上ハ、ドウシテモ八分カ七分
ノ配當ハシテ行カナケレバナラヌ、積立金モヤッテ行カ
ナケレバナラヌ、經費モ掛ルト云フノデ、十五万圓ノ資本
ヲ働カシテ、二十五万圓ニ對スル配當、積立ヲヤッテ行ク
ト云フコトニナルト、十五万圓ト云フモノハドレダケニ働
カシテ行カナケレバ八分ノ配當ヲ爲スコトガ出來ヌ、斯ウ
云フコトニナルト、假リニ公債ヲ五分四厘ノ利廻リニシテ
見テモ、ドウシテモ三割ニ十五万圓ヲ廻スト云フコトデナ
イト八分ノ配當ハ出來ナイ、斯ウ云フヤウナ計算ガ立ツ、ソ
ンナヤウナコトデ信託會社ガ五十五万圓ヲ無理ニ運用スル、
ソコデニ割五分ニ當ル利益ヲ擧ゲテ行カナケレバナラヌト
云フコトニナフテコソ、弊害ガ生ズル、公益的ノ慈善事業デ
信託業務ヲ中心トシテ營ン行ク、其會社ノ信用ハソレニ
依ツテ失墜スル、或ハ營業ノ基礎ヲ薄弱ナラシメルト云フコ
トハ解リ切ッタコトデアル、二十五万圓ノ中十萬圓ヲ丸デ死
藏サセテ十五万圓ヲ働くセナサイト云フコトハ餘リニ酷ナ
シク又御尋シナケレバナラヌガ、先ヅ大體サウ云フヤウナ
コトデアル、サウ云フヤウナコトデヤル、サウ云フヤウナ方
針デ此法案ト云フモノハ出來上ツナデアルカラ、到底信託

會社ヲ發達サセルトカ、助長サセルト云フヤウナ分子ハ餘りニ舍マレテ居ラヌ、唯單ニ取締テ行クト云フダケ一方ノ御考デ出来タモノノ如クニ思ワ、サウ云フコトデアルト、先刻御話シタ通り信託會社ノ大部分ハ殆ド全部ガ餘所ニ逃ダテ行クコトニナツテ、サウシテ起ルノハ新ニ又第二ノ信託會社ガ起ル、從前ト變ラナイ所ノ弊害ヲ社會ニ流布スルト云ファウナコトニナルデアラウ、サウシタナラバ法ノ目的ハ丸デ達スルコトガ出来ナイト思フ

○政府委員(黒田英雄君) 御答方前後イタスカモ解リマセスガ、假リニ百万圓ノ會社ガ四分ノ一ノ二十五萬圓ノ拂込ヲシテ十萬圓ヲ供託スレバ、アト十五萬圓デ以テ會社ノ配當ヲシテ行ク爲ニ之ヲ運用シナケレバナラヌト云フニ御觀察デアリマシタガ、我々ハ全クソレトハ遠フ考ヲ有フテ居リマシテ、會社ノ收益ヲ得ルノハ何デアルカト申シマスト、即チ信託ヲ引受ケテ信託ノ手數料ヲ取ル、ソレカラ附隨ノ業務ハ大體信任ニ基ク手數料、信任ノ方ヲ認メルノデアリマスカラ、何等ノ資本ノ運轉ナクシテ所謂代理ヲシテ、其代理ノ手數料ヲ取ルトカ、或ハ媒介ヲシテ手數料ヲ取ルトカ、云フ風ニ手數料ヲ取テ行クト云フコトガ此會社ノ大體ノ收益ノ生ズル基テアリマスカラ、アトノ十五萬圓デ何デモ會社ノ配當ノ全部ヲ維持スルヤウナ御計算ヲ致サレルコトハ、我々ハ全ク違フ見地ヲ有フテ居ルノデアリマス、勿論アトノ十五萬圓モ相當ニ有利ニ運用スルコトハ必要デアラウト認メルノデアリマシテ、資金ノ運用トシテハ是ハ認メテ居ルノデアリマス、確實ト云フコトハ成ベク失ハナイヤウニ、相當ニ有利ニ運用シテ行クコトハ認メテ居リマスガ、是レノミツ以テ會社ノ配當ヲ維持スルト云フコトハ考ヘテ居ラナイノデアリマス、ソレカラ信託ト云フモノニ對シテ厳格ナ取締ヲスルト云フト、法ラ潜マサニテ更ニ又銀行ノ類似ノ仕事ヲシハシナイカト云フヤウナ御話デアリマスガ、是ハ法ヲ拘ヘマスル上ニ於テ何所マデモ法ヲ潜ルト云フコトヲナクシテ行クト云フコトハ、餘程困難デアラウト思ヒマスガ、成程信託業法ガ出來マシテ、信託法モ出來テ、信託ト云フコトニ依フテ世ノ中ノ信賴ヲ博シテ、サウシテ十分ニ營業ヲヤッテ行ケルト云フコトニナツタ曉ニ於テ、尙ホソレヲ潜マサニテ色々ナカルコトヲシヤウト云フコトニナリマスト、ソレハ弊害ヲ生ズルト云フ時ニハ、又他ノ方法デ以テソレヲ取締ルト云フコトニナルノデアリマスカラ、ソレニ依づテ營業ヲルト云フコトニナルノデアリマスカラ、シテ行クコトが十分ニ出來ルト考ヘルノデアリマス、其後

○政府委員(黒田英雄君) 只今ノハ御意見デアッタカト思ヒマスガ……〔菅原通敬居〕今ノ報酬率ニ付テハ今日確定シタ考ヲ申上ゲル迄ニナッテ居リマセヌノデアリマスルケレドモ、是モ他ノ業務ト……報酬ヲ取ッテ居リマスル他ノ業務ニ付キマシテモノ相當ノ制限ヲ致シテ居リマス、餘り多額ノコトヲスルト云フコトハ勿論制限ヲ致サクテハナラヌカト考ヘテ居ルノデアリマス、併ナカラ其報酬ヲ以テ受益ノ財源トスルト云フコトハ何處迄モ私ハ申シテ宜シイト思フ、此會社ト云フモノハ信託ニシロ又附屬ノ業務ニシロ、其手數料報酬ト云フコトヲ主トシテ居ルノデアリマス、何モ或ル個々ノ事件ニ付テ非常ニ貪ボラズトモ、多數之ヲ取扱ヒマスレバ相當ナ多額ニ上ルノデアリマス、ソレニ依テヤッテ行クト云フコトハ決シテ悪イコトデハナイト考ヘルノデアリマス、相當ナル報酬ヲ取ルト云フコトハ、確實ニソレヲ管理シテ行クノデアリマスルカラ相當ノ報酬ハ當然ノコトダラウト思ヒマス、報酬ハ安クシテ、サウシテソレ等ノ受益ヲ他ノ事業デ擧ケル爲メニ危険ナル仕事ヲシテ、サウシテ信託財産ニ危険ヲ及ボスト云フコトモ、寧ロ信託財産ヲ確實ニシテ相當ナル報酬ヲ取ルト云フ方ガ、寧ロ宜シノンデハナイカト考ヘテ居ルノデアリマス、ソレカラ今日信託會社ニ持テ行ッテ居ルモノハ金錢グライノモノデ、他ノ財産ハ、無イト云フ譯ニアリマスガ、是ハ私ハ餘リ澤山無ノイノガ寧ロ當然ダラウト思フ、此コトハ前回ニモ一寸申しマシタ通り、今日ニ於キシテハ此信託關係ヲ律スル所ノ法規ガナイ、其權利義務ノ關係ヲ定メル所ノ法規ガナイノデアリマスカラソレ等ノ點カラ見テモ信託ト云フコトヲ致スト云フコトハ非常ニ不確實デアル、ソレト又會社ノ中ニハ堅實ナル會社モアリマセウガ、五百有餘ノ中ニハ隨分如何ハシイ會社ガ澤山アル爲メニ世ノ中ノ人ガ信託會社ニ對シテソレ程マデナル信賴ヲシテ居ルト云フコトモ、私ハ一般的ニ申シマスレバ申セナイト思フノデアリマシテ、サウ云フ風ナ原因カラシテ今日無イト云フコトハ寧ロは當然デハナカラウカト云フ考ヲ有ツテ居ルノデアリマス、是ガ法規ガ出來マシテ監督ヲ受ケルヤウニナリマスレバ將來十分ニ發達シテ行ク此コトニ付テハ本議場ニ於キシテ大藏大臣カラ申上ガタ、濠洲ノ例ヲ採テ、濠洲デハ固有信託ノミヲ營ンデ居ツテ附隨業務ヲ認メザルニ拘ラズ、成績ヲ擧ゲテ居ルト云フコトヲ申上ゲマシタ、之ニ菅原サンカラ更ニ御質問ガアッタヤウデアリマス、是ハ濠洲ニ於テ會社ガ固有信託ノミヲ營ンデサウシテ相當割以上ノ配當ヲシテ居ル所モアルヤウデアリマス、相當ナル配當モシテヤッテ來テ居ルト云フコトヲ、唯例ニ大臣モ申上ゲタト考ヘテ居ルノデ

ナル、ソレニドウシテ信託會社ガソコニテ利益ヲ擧ゲルト
云フコトガ出來ルダラ「カ、矢張是等ハ三分五厘カソコラ
ニ制限爲サル御見込ナンデセウカ
○政府委員(黒田英雄君) 其點ニ付マシテハ前ニ申上ゲマ
シクカト考ヘマスルガ、九條ニ於キマシテ或ル保證ヲスル
ト、利益ノ保證ヲスルト云フコトヲ法律ハ認メタノデアリ
マス、其歩合ニ付マシテハ、只今御話ノヤウニ如何ニモ三分
五厘トカ三分トカ決メテ居ル譯デハアリマセヌガ、銀行ノ
取ヲテ居リマス預金ノ利率ト云フモノニ比較イタシマスレ
バ稍ミ之ニ制限ヲ加ヘテ低クスル考ヲ持テ居リマス、併シ
是ハ只今ノ御言葉ノ中ニモアリマシタガ銀行ノ預金ヲ侵ス
カラ……侵スト仰セラレタカ、ソレハチヨット聽キ間違ガアリマス、併シ
タカモ知リマセヌガ銀行ノ預金ノ競争スルト云フ趣旨カ
ラ制限スル譯デハナインデアリマス、全ク本質ガ違フト云
フ事ハ前ニモ申シタカト考ヘルノデアリマス茲ニ規定シテ
居ルモノトハ前ニモ申述べタカト考ヘルノデアリマス、ソ
レカラ若シ低イ所ニ制限ヲシタナラバ金錢ノ信託ヲスルヤ
ウナコトガナクナラウト云フ、此點ニ付キマシテモ我々實
ハ少シ達タ考ヲ以テ居リマスノデソレハ前ニモ申上ゲマ
ス通リ銀行ノ預金ニ致シマシテモ信用ノナイ銀行ハ利率ヲ
高クシナケレバ預金スル者ガナイ、信用ノアル所ハ利率ノ
低イ所デモ預金スル者ガ澤山アリマスルモノデ信託會社ガ
若シ信用ヲ得ルヤウナコトニナリマシタナラバ信託會社ニ
持ツテ行ケバ之ニ保證ヲシテ吳レル、成ルホド三分ヤ三分五
厘ノ利率デモ預金ノ一割以上ノ運用ライタシマスレバ其運
用シク利益ト云フモノハ其利益ハ全部之ヲ受益者ニ參ルノ
デアルカラ一割トカ一割以上ニナリマスレバ其會社ガドノ
位ノ程度マデ運用スルモノデアルカト云フコトニ付テ又會
社ガ確實デアルト云フコトニ付テ社會ノ好評ヲ博シマシタ
ナラバ利率ノ保證ハナクトモ私ハ持ツテ行クコトニナルノ
デアラウト思ヒマスガ其上ニ利率ニ保證ヲ致シテ居リマ
ス、ソレカラ以上ト云フモノハ會社ノ話ニ依ツテ幾ラニデモ
高ク確實ニ運用シテ吳レルコトニナルノデアリマスカラ一
概ニ保證利率ノ低イト云フコトヲ以テ將來發達ヲシナイト
云フ考ハ持ツテ居ラヌノデアリマス、是ハ最早申上ゲル迄ノ
必要ハナイコトデアリマスガ本議場ニ於テ御話ガゴザイマ
シタコトデアリマスカラ、只今モ御話ガゴザイマシタガ、チ
ヨット再び御調ベラ願ヒタイト思フノデアリマスガ、濠洲ノ
會社ハ二十万弗ト云フコトガ書物ニ書イテアルト云フノハ
二十万「シエヤース」、株ガ二十万株ト云フコトガ書イテア
ルノデアリマス、多分「シエヤー」ハ五「ペンド」ダラウ
ト云フヤウニ思ヒマス、本ニハ五「ペンド」ト書イテゴザ
イマス、「十「シエヤース」ト書イテアルノハ……

フコトハ程度ノ問題デアリマシテ今日只今御尋ニナリマシタ三分五厘トカ三分トカ云フコトニ付テハ必ズシモ考ヘテ居ラナイ譯デハアリマセヌノデ唯損失ノ半分ヲ負擔スルト云フコトハ相當ノ程度ニ止メタイゾレヲ具體的ニ申上げテ詰リ銀行ニ預金シテ居タ時ヨリモ半分カ低イ程度ニソレフ定メタイト云フノデアリマス○管原通敬君今ノ御説明ハ甚ダ満足イタシマセヌガソレ以上ハ意見ノ相違ニナリマスカラ止メマスガ先程モチヨット問題ニナリマシタ關係上カラ供託金ノコトニ付テ尙ホ御尋イタシマスガ供託金ハ契約違反ニ依テ生ズルコトアルベキ損害ノ擔保トシテ供託スル斯ウ云フ越旨ニナッテ居ルヤウデアリマス果シテ然ラバ供託金ヲ定ムル基本トナルベキ標準ハ信託財産ト云フモノガ其標準ニナルベキガ當然デハナイカト思フ資本金ト云フモノハ一方カラ言ヘハ會社ノ信用ヲ圖ルベキ基礎ニナルノデアリマセウ併ナガラ其資本金全部ガ國有財産營業ノ爲ニ使ハレテ居ルモノデハナイ他ノ附隨業務ニモ斯ウ云フヤウナコトニ付テモ適用サレテ參リマセウ又一方ニ於テ資金ノ融通ヲ圖ル上ニ於テモ基礎ニナルト云フノデアッテ資本金全部ト云フモノガ國有財產全部ノ營業ノ基礎トナルベキ信用ノ標準ニハナラスノミナラズ損害ノ起々タ場合ニ於ケル擔保ト云フ意義デアルガ其損害ノ起ルベキ原因タル信託デアリマス其信託財產ヲ標準トシテ行クト云フコトハ理窟デヤナイカ其信託財產ヲ標準トスルコトヲナサズシテ資本金ヲ標準トナシタト云フ理由ヲ承リタイ○政府委員(黒田英雄君)御尤モノコトデアリマシテ信託財產ヲ標準トスル事ハ最モ理論的ダラウト考ヘルノデアリマス併シ信託財產ヲ標準ト致シマスレバソレニ信託財產ノ増加スルニ隨ツテ供託金ヲ増シテ行ク事ガ當然デアリマスガ是ハ丁度貯蓄銀行ニ例ヲ取リマスト貯蓄銀行デハ貯蓄金ノ三分ノ一丈ケテ貯蓄預金ヲ標準ニシテ居ル是ハ貯蓄預金ト云フモノハ即チ自分ノ自由ニナルモノノデアリマス一部分ヲ供託シ一部分ヲ運用シテ行キマシテモ一向差支ナイコトデアリマスルガ夫故ニ貯蓄預金ヲ標準ニシテ供託額ヲ定メルト云フコトハ大變ニ爲シ易イノデアリマス信託會社ノ場合ニ於キマシテハ信託財產ト云フモノハ信託行爲ノ定ムル處ニ依テ管理運用シナケレバナラヌ、信託財產ノ一部ヲ供託ニ向ケルコトハ出來ナイ信託財產ハ全然信託財產トシテ別箇ニ運用シナケレバナラヌト云フ義務ヲ帶びテ居リマスカラドウシテモ是ガ殖エルニ隨ツテ自分ノ資本ヲ増シテ供託シテ行カナクヤナラヌト云フ結果ニナリマス是ハ資本額ノ何倍或ハ何十倍ト云フ額ニ達スベキ信託ヲ引受ケルベキモノガ是等ノ資本ヲソレニ隨ツテ全然増

シテ行カナケレバナラメコトニスルコトモ或ハ酷デアラ

ウ、理窟ハソレデ宜シト思ヒマスガ、實際ニ於テ極メテ

不便デ又會社ニ對シテモ酷デアラウト云フ考カラ、已ムヲ

得ズ資本金ヲ標準ニ取クタ次第アリマス

○菅原通敬君 信託財産ガ増加スルニ隨テ供託金ガ增加

テ已ムトスウ云フコトヲ言ハレテ居ル以上ハ、信託財産ヲ

標準トシテ供託金ノ率ヲ定メル場合ニモ、百万圓ニ至テ已

ムト云フコトニナスツタナラバ、際限ナク供託金ガ增加シテ

行クト云フ累ヲ避ケルコトガ出來ルカラ、今ノ際限ナク供

託金ガ増加スルコトガアルカラソレデ資本金ニ依テヤツタ

ノデ、信託財産ニ依タノデ無イト云フコトノ説明ニハナラ

ヌヤウニ思ヒマス、ソコハドウデスカ

○政府委員(黒田英雄君) 信託財産ヲ標準ニスルト云フ理論

ヲ貰キマスレバ、ドウシテモ信託財産ガ殖ヘルニ隨テ増

サナケレバナラヌト考ヘタノデアリマス、ソレニ對シテ或

限度ノ制限ヲ加ヘルト、信託財産ヲ標準トスルト云フ理論

ヲ定メルコトニナラヌヤウニ考ヘマス、サウシマスト信託

財産ヲ標準トスルト言ヒマスト何處マデモ信託財産ヲ伴

テ、何万カ之ヲ供託シナクチヤナラヌト云フコトニナルト

トカラ十分ノニシタノデアリマス

○菅原通敬君 今ノ御説明ハ於イテ論理不徹底デアルト認

メラレマス、尙伺ヒマスガ、資本金ノ十分ノ一ト云フ標準ハ

ドレ丈ト云フ意味デアリマスカ

○政府委員(黒田英雄君) 大體ソレ位ガ宜カラウト云フコ

トカラ十分ノニシタノデアリマス

○菅原通敬君 サウスルト確タル根據ノ無イ標準デアルト

云フ御説明ト伺テ置キマス更ニ伺ヒマス、元來供託金ト云

フモノハ個人信託ノ場合ニ於ケル損害ヲ生ジタ時ニ賠償ノ

意味ニ於テ爲サシムルノデアルト云フコトデアリマス

信託財産ノ無イ場合ニ於テハ供託金ノ必要ハ無イ筈デアル

信託財産デアルカラ初メテソコニ損害ヲ惹起ス危険モ生ズ

ルガ、信託財産ノ無イ場合ニ於テハ供託ノ必要ガ無イ、サウ

見テ宜イデスカ

○政府委員(黒田英雄君) 既ニ先程申シマシタ通り此標準

ヲ信託財産ヲ標準ヲ取ラナカツタノデアリマス、必ズシモ信

託財産ノ有無ト云フコトニ大體變リハアリマセヌノデアリ

マス、會社ガ營業シマス上ニ於テ或程度ノモノハ之ヲ共託

リモ成程御話ノ通り信託財産ヲ標準トスル方ガ一層理論的

デアラウト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、ソレカト云

フテ資本金ヲ標準トシタモノガ全ク意義ガ無イモノデハア

リマセヌ、資本金ヲ標準トシタノハ資本ト云フモノハ全體

ニ於テ信託財産ニ屬スル共同擔保ニナツテ居ルト云フ事ハ、

兼々申上ゲテ居リマス、供託シタ以後ノ事ニ付キマシテモ

シタモノヲ、コチラニ運用シテソレ自分ガ持テ居ラナイ

デ供託サシテ置カウト云フ趣意ガ即チ共同擔保ノ或ハ部分

ヲ一層確實ニ擔保力ヲ持タス、而モノレ丈ケノモノハ受益

者ガ他ノ債權者ニ先ツテ優先的ニ辨済ヲ受ケル權利ヲ受ケ

ル爲ニ、其中ノ或一部分ヲ割イテ供託サセヤウト云フ趣旨

シテ行ツテ會社ガ供託金ヲナスコトニ因ルヤウナ狀況ガア

ラウト思フカラ、ソレヲ斟酌シタノダ、斯ウ云フ考カラ、已ムヲ

ルガ、資本金ヲ標準トシタ場合ニ於テモ、既ニ百万圓ニ至

テ已ムトスウ云フコトヲ言ハレテ居ル以上ハ、信託財産ヲ

標準トシテ供託金ノ率ヲ定メル場合ニモ、百万圓ニ至テ已

ムト云フコトニナスツタナラバ、際限ナク供託金ガ增加シテ

行クト云フ累ヲ避ケルコトガ出來ルカラ、今ノ際限ナク供

託金ガ增加スルコトガアルカラソレデ資本金ニ依テヤツタ

ノデ、信託財産ニ依タノデ無イト云フコトノ説明ニハナラ

ヌヤウニ思ヒマス、ソコハドウデスカ

○政府委員(黒田英雄君) 信託財産ヲ標準ニスルト云フ理論

ヲ貰キマスレバ、ドウシテモ信託財産ガ殖ヘルニ隨テ増

サナケレバナラヌト考ヘタノデアリマス、ソレニ對シテ或

限度ノ制限ヲ加ヘルト、信託財産ヲ標準トスルト云フ理論

ヲ定メルコトニナラヌヤウニ考ヘマス、サウシマスト信託

財産ヲ標準トスルト言ヒマスト何處マデモ信託財産ヲ伴

テ、何万カ之ヲ供託シナクチヤナラヌト云フコトニナルト

トカラ十分ノニシタノデアリマス

○菅原通敬君 今ノ御説明ハ於イテ論理不徹底デアルト認

メラレマス、尙伺ヒマスガ、資本金ノ十分ノ一ト云フ標準ハ

ドレ丈ト云フ意味デアリマスカ

○政府委員(黒田英雄君) 大體ソレ位ガ宜カラウト云フコ

トカラ十分ノニシタノデアリマス

意ニナツタコトハ私モ承知シテ居リマス、然ルニ其命令ノ定

ムル所ト云フコトハ先ツ二箇年位ト云フコトニ言明サレテ

居ルノデアリマスガ、先程來申ス通り今マデノ信託會社ガ

サセルト云フ問題ニ付テ十分ノ一方適當デアラウト云フノ

デ十分ノ一ト云フノデアリマス、サウ云フ風ナ意味ヲ採リ

マスカラソレデ會社ノ資本ガ幾ラ殖ヘテモソレニ比例シテ

何處マデモ十分ノ一ヲ全部供託サセルカト云フコトノ問題

ニナリマス、其處マデ行キマスト會社ニ取リマシテモ

隨分負擔ガ重ナルコトデアリマス、先ツ相當ノ程度ニ積リ

資本金ノ中ノ相當ノ程度ト云フコトモ強イ無理デハナカラウト云フコト

イカト云フコトカラ百万圓ニ制限シタノデアリマス、ソコ

ノ標準ヲ取ル處ノ基ガ達ツタノデアリマスカラ、自然ニ其處

ニ制限ヲ設ケルト云フコトモ強イ無理デハナカラウト云フ

考ヲ持テ居ルノデアリマス

○菅原通敬君 今ノ御説明ハ於イテ論理不徹底デアルト認

メラレマス、尙伺ヒマスガ、資本金ノ十分ノ一ト云フ標準ハ

ドレ丈ト云フ意味デアリマスカ

○政府委員(黒田英雄君) 大體ソレ位ガ宜カラウト云フコ

トカラ十分ノニシタノデアリマス

○菅原通敬君 今ノ御説明ハ於イテ論理不徹底デアルト認

メラレマス、尙伺ヒマスガ、資本金ノ十分ノ一ト云フ標準ハ

ドレ丈ト云フ意味デアリマスカ

○政府委員(黒田英雄君) 一ト云フコトハ先ツ二箇年位ト云フコトニ限

當ヲ申上ゲタノデアリマス、必ズシモニ一年ト云フコトニ限

定ヲ致シテ居ルト積リデハナノノデアリマス、只今二年ヤ三

年デハ信託財産ト云フモノハナイト云フ風ノ御説デアリマ

スガ、此點ニ付テハ私ハ多少違ツタ意見ヲ有ツテ居ルノデア

リマスカラ、大體二年位ノ相當ノ信託財産ト云フモノハ取

り得ルモノト云フ考カラ大體ノ考ヲ申上ゲマシタ、必ズシ

モ二年ト云フコトヲ確定的ニ申上ゲタノデハナノノデアリマス、併シ五年ト云フ今御説デアリマシタガ、是ハ餘りニ長

イモノデハナカラウカ、法ノ制限ヲ設ケテ居ルニ拘ラズ五

年間モ其制限ヲ延長スルト云フコトハ實際カラ見テ餘リニ長キニ失シハセヌカト云フ考ヲ只今有ツテ居リマス。

○菅原通敬君 ソレカラ此供託物ハ國債證券限リト云フコトニナツテ居リマスガ、之ヲ大歳大臣ノ承認ヲ經タル他ノ有價證券ヲ以テ代ヘルト云フコトニ付テハドウ御考ヘニナツテ居リマスカ。

○政府委員(黒田英雄君) 國債ガ最モ價格ノ變動ガ少クシテ最モ確實ナモノデアル、最モ普遍的ナモノデアルト云フヤウナ考カラ致シマシテ國債ニ限ツタノデアリマス、國債以外ノモノヲ認メルト云フ考ハ有ツテ居リマス。

○菅原通敬君 能ク政府委員ハ信託業法ト貯蓄銀行法トヲ御引合セニナリマスガ、私ハ元來全ク違ツタ考ヲ有ツテ居リマス、能ク貯蓄銀行法ヲ御引合セニナリマスガ、其貯蓄銀行法ニ於テハ供託金ハ國債證券ニ限ラヌコトニナツテ居ル、而モソレガ最近ノ立法例デアル、貯蓄銀行ニ於テサヘモ他ノ有價證券ヲ以テ或部ハ代ヘルコトガ出來ルコトニナツテ居ルノデアルカラ信託會社ニ於テモ其全部トハ云ハヌカ或部分ハ他ノ有價證券ヲ以テ代ヘルト云フコトガ出來ルコトニサレルコトガ至當ダト思ヒマスガ、尙ホモウ一應伺ヒマス。

○政府委員(黒田英雄君) 貯蓄銀行ノ例ヲ度々取リマスノデソレハ餘リ宜クナイト云フヤウナ御意見デアリマスガ、貯蓄銀行ニ於キマシテ或範囲ヲ越シタ供託ニ付テハ大藏大臣ノ認可ヲ受ケマシタ他ノ有價證券デ宜イト云フコトニナ

連サセテ御論ジナルコトハ間違ツテ居ルト思ヒマス。○政府委員(黒田英雄君) 貯蓄銀行ノ場合ニ於キマシテハ銀行ガ運用シテ収益ヲ擧グベキ所ハ詰リ貯蓄預金ト云フ者ニ付テ三分ノ一マデノ供託マデ命ジタノデアリマスカラ相當ニ財產ノ大部分云フモノハ運用スベキ財產ノ大部分ト云フモノヲ供託シ……大部分ト云フト語弊ガアリマスガ、詰リ三分ノ一ト云フ大ナル部分ノ運用ヲ制限サレルノデアリマスカラ其中ノ幾分ハ國債以外ノモノニ運用スルコトハ認メタノデアリマス、信託會社ニ於キマシテハ資本金ノ十分ノ一ト云フコトデアリマスカラ更ニ其上ニ他ノ證券マデ認メル必要ハナカラウト云フ考デ國債ニ限ツタ次第デアリマス

○菅原通敬君 其御説明モ甚ダ矛盾不徹底ト申ス外ハナイソレハ先ツソレデ置キマシテ更ニ私ハ其國有信託業務ノ信託會社ニ引受ケバキ財產ノ種類ニ付テ代用上ノ問題ニ付テ……信託法ニ於テ他人ニ譲渡スルコトヲ得ベキ財產權ト云フモノハ其何モノタルヲ問ハズ信託ノ目的ニスルコトガ出来ル、ソレハ當然デアル茲ニ財產ノ信託ヲシタイト云フ者ハドノ財產デモ之ヲ信託スルコトガ出來ルト云フコトニシテコソ始メテ信託者所謂其委託者ト云フモノノ依頼ニ應ズルコトガ出來ルノデアル、ソレヲ此財產ハ信託ガ出来ル此財產ハ信託ガ出來ナイト云フヤウナコトニナルト云フト委託者ノ爲ニハ非常ニ不便ヲ來スコトニナル信託會社ノ營業ノ業務ヲ制限スルコトハ暫ク措イテ免モ角信託者ガ或財產ヲ信託出來ルト云フ門戸ヲ閉チラレテ仕舞ハレルト云フコトハ折角財產ノ信託ニ依テ之ヲ管理シテ費ハウト

云フコトノ目的ニ叶ハナイコトニナル、此處ニ例ヘバ遺產ノ相續ヲ受ケタモノガアル、其財產全部ヲ一ツ信託會社ニ委託シ様ト云ツタ時ニ、此部分ハ信託ガ出來ル、此部分ハ信託ガ出來ナイスウ云フコトニナルトスルト折角纏ツテ居ルハ貯蓄銀行ニ比較スルト云フト、非常ニ少イコトニナツテ居ルノデアリマス、國債ノミテ差支ナカラウト云フ考ヲ有ツテ居ルコトガ宜クナツテ居ルノデアリマス。

○菅原通敬君 貯蓄銀行ハ貯蓄銀行トシテ例ヘバ三分ノ一分立金ヲサセナケレバナラスト云フ其必要ナル理由ガアルガ、信託會社ガ百分ノ十、所謂十分ノ一ト云フモノハ大ナル供託金ノ程度デアル、毫モ信託會社ノ性質カラ十分ノ一分立金ヲサセナケレバナラスト云フコトニナラウト思ヒマス、其點カラ本來云フナラバ何等ノ區別ヲセズニドノ財產デモ信託ガ出來ルト云フ事ニシテアルノガ本當デナケレバナラヌ、併ナガラ、之ヲ營業トシテ營ム場合ニハ會社ノ營業ノ基礎ヲ危クスルヤウナ事ニナツテハナラストカ或ハ委託者ニ損害ヲ及ボシムルヤウナコトアフハナラスト云フノデ貯蓄銀行デアルガ故ニ三分ノ一之ガ茲ニチャント限度ガ定ツテ行クノデアツテ供託金ノ割合ヲ如何ニサレルベキカト云フ根本ノ理論ト國債及ビ國債以外ノ有價證券ヲ總テ之ヲ代ラシムルト云フ事ノ理論トハ別箇ニ離レタ問題デ之ヲ

ヤイカヌ之ハ宜シイ、併ナガラ之グケンカ出來ヌゾト一方カラ制限シテ行クト云フコトハ本則カラ云ヘバアベコベノ書キ方デアルト思フ

○政府委員(黒田英雄君) 信託業法ニ於キマシテ此四條ニ

信託業ヲ營業シテ行キマスル場合財產ノ制限ヲ多クシタコトニ付テハ業トシテヤルノハ制限スルモ宜カラウト云フ

上ゲナインデアリマスガ、唯比制限ヲイクシマス場合ニ於テ何處ニ引受ケテハイカズト云フ其禁ズル方ヲ書カナカラタト云フ御話デアリマスガ、此點ニ付テハ私ハ寧ロ此禁ズル方ヨリモ斯ウ云フモノヲ引受ケルト云フコトヲ書イタ方ガ便宜デモアリマスシ又信託會社ト云フモノハドウ云フモノカ、如何ナル仕事ヲシテ行クノカト云フコトヲ明カニスル上ニ於テモ極メテ便宜デアリマスルシ又信託會社ガ將來ドウ云フ業務ヲ最モ信託會社ガ營業スルノニ適當デアルカト云フコトヲ示シマス上ニ於テモ極メテ便利デアリマス、又此禁止ヲスル方ニ付キマシテハ色ニノノガアルノデアリマス、之ヲ列舉スルト云フコトハ極メテ煩雜ニナリマシンソレヨリモ將來信託會社ノ最モ仕事トシテ發達シテ行ク見込ノアルモノ、最モ適當ナルモノデアル差支ナイモノト云フモノニ付テ見マスルト云フト、茲ニ列舉シテアル範圍ニ止マルト云フ考ヲ持ツテ居リマス、之ニ漏レマスモノニ付テハ茲ニ屢々申シマシタ通リ之ヲ認ヌマスト云フコトハ色ニ弊害ヲ生ズルノデアリマスカラ寧ロ斯様ニ規定ライシタ方ガ便利ニシテ且ツ適當デアルト云フ考ヲ持ツタ次第デアリマス

○菅原通敬君 政府ニ於テハ今日ノ信託會社ノ現狀ニ照シテ皆アノ程度ニ業務ヲ制限スルコトガ必要グ、斯ウ云フ見地カラア、云フ風ノ制限ヲ取ラレクト云フコトノ御説明ニナツテ居ルヤウニ承テ居ルノダガ社會モ段々進歩スルシ信託會社モ段々發達シテ行クカラ、サウスルト云フ第四條ノ斯様ナ届届ナ制限デハ宜クナイト云フ時機ガ必ズ近ク到達スルダラウト思ヒマス、又ソレハセズトシテモ信託會社ガ要望スルモノデアラウト思フ、又サウシナケレバナラヌコトデアル、ソレヲ集メテキリ制限シテモウ此以上ハナラヌゾ、ドンナ信用アル會社ニモ必要ナル業務デモ許サヌ、斯ウ云フコトニヤツテ行クト云フコトハ、極メテ窮屈デ、社會ノ進展ニ伴フテ行クコトノ出來ナイ所謂屆伸性ノ缺ケテ居ル法律デアル、斯ウ私ハ思フノダガ、アレハ當然會社ガ認許ヲ受ケル場合ニ於テ大藏大臣ノ認可ヲ受ケナケレバナラスコトデアルカラ大藏大臣ガ認可スル場合ニ於テ材料ニ依テ之ヲ取捨スルト云フコトガ出來ルヤウニ定メテ置カレルト云フコトガ生キテ居ル此經濟界ヲ率シテ行ク所ノ法律

トシテハ最モ適當デアルト思フノデアリマスガ、ソレガ出來ヌノデアリマスガ、或ハソレデハ餘リニ煩ハシイカラソコマデ行クト云フコトハガ困難デアルト言ハレルナラバ、アノ制限ト云フモノノバ勅令ヲ以テ之ヲ定メルコトガ出來ルヤウニ例ヘバ信託會社ニ對シテ信託ノ引受ケヲ爲シテ、財產ノ種類ハ勅令ヲ以テ制限スルコトヲ得ト云フヤウナコトニソコニマデ届伸ノ勵キノ付クヤウニシテ置カレルト云フコトハ今日ノ時勢ニ適應スル所以ダト思フノデアリマス其點ニ付テハドウ云フ風ニ御尋ニナリマスカ

○政府委員(黒田英雄君) 四條ノ規定ハ今日ノ營業居ルモノヲ標準トシテ決メヌト云フヤウナ風ノ御話デアリマシタガ、左様デハナインデアリマス、勿論今日營業居ルモノモアリマスガ、將來發達シ又信託會社トシテヤルノニ適當ナモノハ總て此所ニ漏シタノデアリマス、直ニ之ヲ廣げナケレバナラヌト云フ風ナ必要ガ直グ來ルトモノヲ目的トシテ御話スレバ土地ニ付テハ其所有權ヲ移轉シテモ宜シ、又土地ニ對シテハ擔保權ヲ設定シテモ宜シ、又地上權ヲ設定シテモ宜トイト云フコトニドウモ解釋シナケレバナラヌト思フノデアリマスカラ、茲ニ土地ト云フモノヲ目テ、之ヲ或ハ大藏大臣ガ認可ノ際ニ取捨スルト云フ爲ニ之ヲ廣ガルト云フマデノ必要ハナイヤウニ考ヘルノデアリマス、又勅令ト云フ御話モアリマシタガ、此規定ハ信託會社ノ根本デアリマシテ、如何ナルコトヲ行フノガ信託會社デアルカト云フコトヲ定メテ又一方ニ信託會社ノ弊ヲ防ガウトスル趣意カラ出デ居ルノデアリマスカラシテ、斯ノ如キ重要ナル規定ヲ法律ニ掲ゲテ置イテ、サウシテ將來万一經濟界ノ變動ノ爲ニ必要ヲ生ジタ場合ハ、法律ヲ變へテ之ヲ禁止若クハ認メルト云フコトニ出ヅルガ、最モ適當デアルト

云フ考ヲ持テ居ル次第デアリマス
○菅原通敬君 ソコハ御意見ニナリマスカラ此以上ハ中マセヌガ、第四條ニ定メテ居ル種類ハ信託會社ノ業務ノ基礎ニナリ、根本ニナルノデアルカラト云フコトヲ堅ク仰セニナテ居リマスガ先キニ政府案ニ對シマシテノ既ニ衆議院ニ於テ修正サレテ最初、政府ニ於テ是ハ信託會社ノ基礎デアル、根本デアルト云フ事ニエライ動搖ヲ來シタ譯デアルガ、前ノ原案ト云フモノハソレホド確信ノ下ニ作タモノデナカッタ、斯ウ認メテ宜シノデアリマスカ

○政府委員(黒田英雄君) ソレデ如何様ニデモ御判断ニ待ツヨリ外アリマセヌガ、政府ガ原案ヲ作リマス上ニ於テハ相當ノ確信ヲ有テ作タノデアリマスガ併シ議會ニ於ケル御希望モ相當ノ程度ニ於テ是ハ尊重シナケレバナリマセヌカラ、ソレニ依テコマデハ差支ナカラウト考ヘタ次第アリマス、前ノガ確信ガナカツタト云フ意味デハナイノデ

○菅原通敬君 サウスルト云フト貴族院ニ於テ是ガ必要ナルモノデアルカラ加ヘナケレバナラヌト云フコトノ議ニナテ、サウ極マレバ無論政府ニ於テモ御異存ノアル筈ハナカラウト思ヒマスガ、ソレハ暫ク置キマシテ此前伺々タ時ニ信託ハ財產ノ移轉、財產權ノ移轉、其他ノ處分ヲナシ其他ノ處分ヲ以テ、其他ノ處分ト云フノハ擔保權ノ設定トカ云フヤウナコトガアル、設定トカ云フコトガ含マレテ居ル、斯ウ云フコトニモ伺テ居ル、併ナガラ信託業法ノ第四條ニハ財產權ノ移轉トノミ限テ居ラヌノデアリマス、信託法ニ定メテ居ル方法ニ信託ノ設定ガ出來ル、斯ウ云フコトニ改正シナケレバナラヌノデアリマスカラ茲ニ土地ト云フモノヲ目的トシテ御話スレバ土地ニ付テハ其所有權ヲ移轉シテモ宜シ、又土地ニ對シテハ擔保權ヲ設定シテモ宜シ、又地上權ヲ設定シテモ宜トイト云フコトニドウモ解釋シナケレバナラヌト思フノデアリマスガ、此前ノ御説明ハドウモ私ハソコマデ受取レナカッタ、法ノ趣意ハ後ノ地上權ト云フモノガアル、地上權ヲ設定スル場合ノコトハ認メテアルガ、擔保權ノコトハ書イテナインデアルカラ、ソレハ認メヌ譯デアル、斯ウ云フヤウニ言ハレタガ、ソレハ甚ダ私ハ説明ニハナラナイト思フ、茲ニ所謂地上權ト云フテ居ルノハ委託者ガアリ、土地ニ對シテ持テ居ル地上權ヲ、ソレヲ信託會社ニ信託スル、斯ウ云フ意味ノ地上權デアルト思フノデアリマス、自分ガ持テ居ル土地ヲ信託會社ニ持テ行うテ、地上權ヲ設定スル場合ノ規定デハナイト思フノデアリマス、ソレハドウ云フコトデアリマスカ

○政府委員(黒田英雄君) 御答方前後スルカモ知レマセスガ地上權ニ付キマシテハ自分が委託者ガ既ニ持テ居ル所ノ地上權例ヘバ土地ノ土ニ地上權ヲ有テ居ル、其上ニ家屋ヲ立テ居ル、其家屋ヲ地上權ト共ニ信託スル場合ハ御話ノ如キ問題モアルノデアリマスガ、自分が土地ヲ有テ居ル自分ノ土地ノ上ニ地主權ヲ信託スルト云フコトモアル、是ハ兩方含シテ居ル積リデアリマス、サウシテ前回ニモ御意見ガアリマシタヤウニココニアル土地ト云フモノハ、即チ土地ノ所有權ヲ言テ居ルノデアリマス、土地ノ上ニ於テ擔保權等ニ付テハ四條デハ認メテ居ラヌ次第デアリマス、左様

○政府委員(黒田英雄君) ソレハサウ云フ御解釋ダト言ハレテ信託法ト併セテ此業法ノ第四條ヲ讀ンデ見マスルト云フト、サウ云フヤウナコトニハナラナイ、目的物ハ何デアルカ、土地其地ノ所有權ヲ言テ居ルノデアリマス、土地ノ上ニ於テ擔保權等ニ付テハ四條デハ認メテ居ラヌ次第デアリマス、左様

○政府委員(黒田英雄君) 只今船舶ヲ何故信託ノ引受ノ目的ニシナイカト云フコトノ御質問デアリマシタガ、元來此四條ニ於テ信託財產ヲ選ビマシタノハ、前回ニ屢々申シタク通り、將來此信託會社ガ營業トシテ營業行ク上ニ於テ最モ適當デアル、又發達スベキモノデアルト云フモノヲ選ンダノデアリマシテ、船舶ノ如キハ之ヲ理論ノ上カラ見マスレバ運送業モ何モシナイ、單純ニ其所有權タケヲ信託スルト云フコトハ理論上ハアルカモ知レナイ、信託會社デ營業トシテ引受ケテ、又營業スル所ノ信託會社ニ之ヲ信託スルト云フヤウナ場合ハ、多クノ場合ソレニ依テ運送等ノ事業ヲ營んで行クト云フコトガ伴ハナケレバナラヌト考ヘマス、サウ云フ風ナコトハ今御話ニモアリマシタ通リ色々ノ危険ヲ伴フモノデアリマスカラ、從フテ之ヲ認メナカッタ次第デアリマス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 此際御詰リ致シマスガ、大臣ガ幸ヒニ御出席ニナリマシタカラ、特ニ大藏大臣ニ御質問ガゴザイマスレバ、此際願フタ方ガ便宜カト思ヒマス

○菅原通敬君 大藏大臣ニ御尋ねラテサウト思ヒマシタ事柄ハ、先キニ政府委員ニ御尋ネ申上ゲテアルノデゴザイマスカラ、或ハ重複スルコトヲ恐レマスカラ、成ルベク控エル方ガ宜カラウト思ヒマス、唯一點供託金ノコトニ付テ尙ホ大藏大臣ノ御意見ヲ確メタイト思ヒマス、私ノ政府委員ニ御尋シマシタノハ供託金ト云フモノハ委託者ノ財産ニ付ニ信託會社ガ損害ヲ及ボシタル場合ニ於ケル擔保トシテ取ルモノデアル、斯ウ云フコトヲ言ハレテ居ルノデアリマス、又サウデナケレバナラヌノデアリマス、果シテサウ云フコトニアツタナラバ信託財產ヲ標準トシテ其何割ト云フモノヲ取ラレルノガ理論上相當デハナイカ、然ルニソレヲ資本金ニ標準ニ取フレタノハドウ云フコトデアルカ、成ホド資本金ト云フモノハ會社ノ信用ヲ測ルベキ標準ニナルコトデアルケレドモ、其資本金ノ全部ト云フモノガ所有財產ヲ信託スルト云フ業務ニ利用サレルモノデハナイノデアリマス、其會社ノ資本金ノ全部ヲ標準トシテサウシテ供託金ヲ取ルト云フコトハ少シク均衡ガ取レナイヤウニ思ヒマス、寧ロ是ハ信託財產ヲ標準トシテ取ルノガ相當デハナイカ、斯ウ云フコトヲ申シタニ對シテ政府委員ハ、成程理論上カラ云ヘバ信託財產ヲ標準トスルコトハ宜イデアラウ、去リナガラ段々信託業務ガ發達シテ、而シテ信託財產ト云フモノガ多クナレバ、際限ナク供託金ヲ取ラナケレバナラヌコトニナル、ソレデハ會社ハ困ルノデアルカラ、ソレデ資本金ニ標準ヲ取タノデアル、斯ウ云フコトヲ言ハレタ、ソレニ對シテ更ニ私ハ資本金ヲ標準トスルニシテ供託金ニ於テ限度ヲ設ケナケレバ、ナラヌ、百万圓ニ至テ止ムトカ、信託財產ヲ標準トシテ供託金ヲ算定スル場合ニモ矢張百万圓ニ至テ止ムト云フヤウナ規定ヲ置カレタナラバ、際限ナク供託金ヲ增加シテ行クト云フ處ヲ防グコトガ出來ルデハナイカト云フコトヲ又御問ヒ致シマシタガ、ソコハ意見ノ相違ト云フヤウナ御答デアリマシタ、更ニ信託財產ニ對スル擔保トシテ供託金ガ必要デアルノデアルガ、信託財產ノナイ場合、或ハ少イ場合ニ於テハ資本金ノ十分ノ一ニ到達スルダケノモノヲ一時ニ到達シナケレバナラスト云フ實際上仕様ガナイノデアリマス、ソレデアルカラ之ヲ三年ナリ五年ナリニシテ行クト云フコトニ依テ何等差支ナク信託スルノ目的ヲ達セラル、デアラウ、之ヲ原案ニ於テ即時ニ爲サシメナケレバナラスト云フ趣意ガ分カラヌ、成ル程今回衆議院ノ修正ニ依テ一年以内ニ分割スルコトヲ認メタヤウデアリマスケレドモ、ソレデハマダマダ足ラナイ、何トナレバ今ノ基礎ヲ危フスルコトニナル、信託會社ノ重要ナ御趣意ニ

ハ遠フヤウニ見エルガ、ソレハドウデアルカ、ソレニ二箇年モヤタカラ宜イノデナイカ、必ズシモ二箇年ニ限タ譯デモナイ、ハキリシタコトデナイカラ、斯ウ云フヤウナ御説明デアタノデアリマス、ソレカラ更ニ受託金ヲ資本金ノナコトヲシナケレバナラスト云フ結果ニナッテ、折角此所ニ（聽取シ能ハズ）信託保證率ヲ過度ニ高メルト云フヤウナコトニナッテ行カヌト會社ガ成立タヌト云フヤウナコトニナ、テ、結局信託會社ノ目的ニ副ハヌ、ソレデアルカラ資本金ノ十分ノ一ヲモウ少シ引下ゲテ行カナケレバナラヌガ十分ノ一二ニ定メタ標準ハ何處ニアリマスカト云フコトヲ御尋シマスガ、是ガ先ヅ其邊ガ宜カラウト云フダケデ別段根據ガアルノデナイ、斯ウ云フコトデアタノデアリマス、ソレデ私ハ左様ナコトデアレバ十分ノ一ト云フコトモ確實ナ根據ニ依ツテ定メタモノデナイト云フコトデアレバ、之ヲ八分ノ五位ニ切リ下グ（聽取シ能ハズ）之ヲ五箇年位ニ詰メラレテモ實際（聽取シ能ハズ）ト云フヤウナコトヲ御尋シタイト思テ居ルノデアリマスガ、其點ヲ大藏大臣ノ……

スルコトガ出来ナクナル、純然タル營利事業トハ初カラ視
テ居ラナイ、富豪ヤ資本家ナルモノハ社會ニ貢獻スル義務
觀念ヲ以テ一般社會ノ爲ニ財産ヲ安固ニスル爲ニ資本ヲ投
ズルサウシテ併セテ自分ノ信用ヲ保ツ、斯ウ云フ風ニ育テ
タイ、是ガ從來斯ウ云フ會社ガ無ケレバ誠ニ容易イノデア
リマスケレドモ、現ニ信託會社ガアルノデアルカラ、之ヲ矢
張眼中ニ於テ法ヲ立テナケレバ、ナラヌ、ソレ等ヲ加味シ
タモノデスカラ、理想的ニ取締ルト云フノ方ハ幾ラカ加味
シタ爲ニ緩メタト雖モ、目的ヲ達シナイ程ニ緩メル譯ニ行
カナイ、多少今日マデ自由ニ活潑シテ居タ信託會社ハ矢張
リ其信託會社法案ニ營業シテ居ルカラ不自由ヲ感スルコト
ハ是ハ免レナイ、ソレデ今宵原君ノ話ノ保證金デモアリマ
スガ、是ハ若シ信託サシタ在來ノ歩合ニ依テ政府ニ公債證
書ヲ渡サナケレバナラヌト云フコトニナレバ資本ヨリ數倍
ニナラナケレバナラヌ、信託會社ハ資本ハ十倍ニモ二十倍
ニモ百倍ニモナラケレバ、社會ノ目的ヲ十分ニスルコト
ハ出來マセヌ、信託會社ノ割合ヲ以テスルト會社ハ已レノ
資本カラダケデヤルト云フコトハ出來ナイ、即チ資本ニ對
シテ數十倍或ハ數百倍ノ委託ヲ受ケル、其財產ノ委託ヲ受
ケタモノニ付テ十分ナ取締ガアフテ、茲ニ危險ノナイヤウニ
スル併ナガラ株主ニ對シテモ相當ノ保険ヲソコニ付ケサセ
ナケレバナラヌ、唯信託財產ダケデハ何等カ自分ノ株券ニ
依ツテ自分ハ失策其他取引等ニ付テノ保険ガナケレバナラ
ヌ、ソレデ資本金ヲ一割ヲ以テ保険金トシタト云フコトハ
誠ニ私ハ穩當ナ妥當ナコトト恩ヒマス、ソレデ會社本位カラ
ラ言「クナラバ種々ノ議論ガアル、是ハ會社本位ニアラズ」
バ社會政策ノ最モ重要ナル一ツト政府ハ考ヘテ居リマス、
是ハ產業ニ依テモ關聯ハアリマス、事業ヲ起スニハ事業ノ
金融ノ機關ガナケレバナラヌ、是ハ其他ニ専門ノ目的ヲ以
テ起ルコトガアルノデアリマス、例ヘバアチラデ出來テ居
ル「エキスプロイテーション、コムパニイ」即チ企業會社ト
カサウ云フヤウナ營利的デ大キナ仕事ヲ起スモノヲ補助シ
テ行クトカ云フヤウナ仕組ハ他ニ多々アリマス、ソレカラ
先刻船舶ノコトモ御話ガアツク、船舶ナドモ是ハ信託會社ニ
託スベキ品物デナイ、此銀行デ金ヲ借スノデモ、船舶ニ金ヲ
借スト云フコトハ普通ノ銀行ハ出來ナイ、倫敦デモアレ
ダケノ銀行ガゴザイマスガ、船舶ヲ抵當トスルト云フ銀行
ハーツシカナイ、何ゼナラバ抵當流レノ船舶ト云フモノハ
鑛山ヲ抵當ニ取ラヌト同ジデ、物ヲ喰フ奴デアル、一日モ之
ヲ休マシテ置ク事ハ出來マセヌ、毎日人夫ヲ入レテ置イテ
相當ノ復舊モ急イデシナケレバナラヌ、日々費用ガ掛カル
抵當流レノ船舶ハ鑛山ト同ジ事デ丁度鑛山ハ坑夫ヲ休マシ
テ置クト若シ水デモ這入ルト廢坑ニナルト同ジデアルソ

故ニ抵當ニ這入^タ船ヲドコニカ「チヤーダー」スル、何處ニ
カ賣リ付ケルト云フ専門的ノヤリ方ガ必要デアル、サウ云
フ豫備ノ經驗知識デア、テ初メテ安心シテ船舶ヲ抵當ニス
ルコトガ出來ルト云フ有様デ、日本デハ或ル銀行デハ貸シ
テ居リマスケレドモ、豫メ拾賣ニシテモ幾ラニ賣レルト
云フヤウナ、ホンノ目的ナシニヤッテ居ルノデアリマス、其
點ハ寧ロ保険會社ハ此方ノ知識ハ銀行ヨリ餘計知識ガアリ
マス、銀行デ金ヲ貸スヨリ保険會社ハ今日ハ餘計金ヲ貸シ
テ居ルト云フ有様デアル、何ゼサウカト云フト保険會社ハ
船舶業者ト運輸業者トノ關係ガ深イ知識ガ餘計アリマスカ
ラ單純ノ銀行業者ヨリ安心シテ船舶ヲ抵當ニヤレルト云フ
ノデ、船舶ヲ抵當ニスルト云フコトハ銀行ヨリハ保険會社ハ
ノ方ガ宜イト云フ有様デ、總テサウ云フ關係デ船舶ヲ供託
シナイノデアル、此信託會社ノ信託法デ賣ルトキニハソレ
ダケノ知識ガナケレバナラヌ、サウデナイト信託ヲ受ケテ
モ如何トモスルコトハ出來マセヌ、日々物ヲ食フテ行ク飯
ヲ食^フテ行クト云フモノニアリマスカラ何トシテモ信託會
社ハ受クベキモノナデナイ、要スルニ政府ハ之ヲ此成案ノ通
リヤリタイ……法律ハ定メタ以上ハ改廢ノ出來惡イ様ニシ
タイ尤モ事情ニ依^フテ發達ノ狀況ニ依^フテ益^ム健全ナモノ
ニ導カナケレバナラヌガ、先づ是レ位ノ所デ、十分ヤッテ見
テ果シテ世ノ中ノ爲ニ有益ナモノガ非常ニ宜シモノダト
云フコトガ分ルダラウ、恐ラクハ家々ニシテモ多少ノ財産
ノアルモノデアル、自分ノ子孫ノ保護ヲ希望スルコトハ勿
論デアル、已レガ何ニシタナラバ此子孫ガドウシテ維持ス
ル、無クナシハシナイカ、人ニ瞞サレハシナイカト云フ此心
配ハ大ナルモノデアル、而シテ其結果產ヲ破ルト云フコト
ハ往々ニシテアリマス、會社ガ出來マシテ會社ガ信用ヲ得
ルヤウニナレバ、サウ言フコトハ此會社ニ託シテ安心ガ出
來ルト云フ斯ウ云フ性質ノモノニアリマス、ドウカ、是ハ先
づ此法律ニ依^フテサウ云フコトハ我國家ノ上ニ最モ必要ナ
制度トシテ尤モ必要ノ法律トシテ段々成長セシムルト云フ
御考ヲ以テ御贊成ヲ願ヒタイト云フ當局ノ考テアリマス
○菅原通敬君 イロ／＼詳シク大藏大臣カラ承リマシタ、
社會政策ノ上ニモ必要ナ案デアル、是非ソレヲ發達サセテ
行キタイモノニアルト云フ斯ウ云フ御趣旨ヲ承^クタノデア
リマス、極メテ其點ニ付テハ御同感デアルノアリマスガ、
大藏大臣ノ御趣旨ト信ジテル所ト此法案ニ現ハレテ居ル所
トハ大變違^ツテ居ルノデアリマス或ハ大藏大臣ハ能ク本案
内容ニ付テ御覽下サレス本案ニ對シテ今日ノ經濟界ノ實
際ニ照ラシテ見テ御判断下サレマシタナラバ或ハコンナ風
ニナフテ居ルガソレ程デナイカト云フコトニ御驚キニナル
デナイカト實ハ思フノデアリマス、御趣意ノ通り法案ニ現

ハレテ居ラナイデ勿論私ハ先刻大藏大臣ノ言ハレタヤウナ
會社本位ニ於テ云フヤウナ考ハナイ、但物ノ實際ガ今日
五百有餘ノ信託會社ガ組織シテ居ル、百万圓以上ノ保険會
社ガ六十幾ツモアル、此百萬圓以上ノ信託會社ノ如キハ成
ルベク此法律ノ監督ノ下ニ立タシメルト云フコトニナッテ
初メテ御趣意ガ貴カレテ行クト云フコトニナルノデナイ
カ、然ルニ今日ノ實際カラ見ルト殆ド全部ハ信託會社トシ
テ生キ残^ル、テ行カナイ、看板ヲ塗リ換ヘニ別ノ名前ヲ付ケヤ
ウ、サウシテ自分ノ勝手ナ仕事ヲシテ行カウト云フ義理合
ニナッテ居ルコトハ實際ノ事實デアリマス、或ハ其點ハ大藏
大臣ハ御觀察ハソコ迄行クテ居ラヌデハナイカト思フノデ
アリマスガ、成ルベク政府トシテモ健實ニ發達シテ行クベ
キ性質ヲ有^フテ居ル信託會社ハ此法律ノ下ニ引キ寄セテ、是
モ一方ニ發達サセテ行クト云フコトニ御注意ナケレバナラ
ス所デアルニ拘ラズ今申シタヤウナ現況デアルト云フコト
ニ至リマシテハ或ハ御趣意ニ背クヤウナコトニナリハセヌ
カト思フノデアリマス、ソレニ固有信託業務ヲ營ムガ爲ニ
他ノ業務ニ付テハ非常ニ制限ヲ受ケナケレバナラヌ、干涉
ヲ受ケナケレバナラヌト云フノデ、先刻モ申シマシタガ、或
ハ保證業ヲ營ム者ハ保證會社トナ^フテ現レル、ソレカラ信託
會社ト云フ名前ヲ付ケタモノハ受託會社トシテ現レル、殊
ニ保證業務ニ付テハ、法律ニ於テモ債務ノ保證業務ニ付テ
ハ命令ヲ以テ之ヲ制限スルコトヲ得ト云フコトニマデ行
カレルヤウニト云フ御趣意ニナッテ居ル、然ルニ保證會社ト
云フモノガ名前ヲ變ヘテ現レ、サウシテ勝手ニ其業務ヲ營
シテ行クト云フヤウナコトニナリマシタナラバ、此法ノ目
的ハ達スルコトハ出來ナイ、又今マデノ信託會社ガ受託會
社ト云フ名前ニ依テ業ヲ營ム、而シテ是ガ銀行類似ノ業務
ヲヤ^フテ行クト云フコトニナルト、是モナカ／＼閑却ガ出來
ナイコトニナル處ガ起ルノデアリマスカラ、成ルベクサウ
云フヤウナコトノ起ラヌヤウニ、先づ信託會社トシテ行ク
方ガ大變保護モアリ重ミモアリ、業務ノ發達ノ上ニモ信用
ヲ高ムル上ニモ便利デアルト云フノデ、一ツデモ多ク信託
業務ノ下ニ立タシムルコトガ極メテ適當ナコトデハナイ
カ、然ルニ段々先刻來申シマシタ通り、ドノ方面カラ見マシ
テモ非常ナ嚴重ナ監督取締ノミデアリマシテ、會社ノ榮養
勝手ニ運用スルト云フヤウナ場合デアレバ、供託金ト云フ
トナルベキ業務ト云フモノガ極メテ狹ク定メラレ、而カモ
モノモ嚴重ニナラナケレバナラヌノデアリマスガ、信託
會社ノヤウニ信託シタル財産ハ現存シテ、サウシテ法定ノ
下、政府ノ監督ノ下ニ於テ立派ニ其處ニ存在シテ居ルノデ

アルカラソレサヘ嚴重ニ抑ヘテ置ケバ、供託金ト云フモノ
ノ必要ハナイト言^フテモ宜イ程ノモノデアル、ソレデアリマ
スルカラ供託金ノ如キモ少シ寛大ニセラレテ、會社ガ餘り
困難セスト云フコトニ御取扱ニナルト云フコトガ別ニ信託
者ニ對シテ危險ヲ増スト云フコトデモナシ、而シテ會社ノ
營業ノ爲ニハソレガ必要デアル、サウシテ會社ノ發達ノ上
ニモソレガ有利デアルト云フコトデアッタナラバ、サウ餘り
トノ必要ガナインデハナイカ、現ニ貯蓄銀行ノ供託金ノ如
キモ或制限以上ハ國債證券デナクテモ宜シ、而カモ信託
會社ハ十分ノ一ヲ納メル、貯蓄銀行ハ三分ノ一デアルト云
フ、信託會社ハ十分ノ一デナクレバナラナカ^ルト云フコ
ト定メタ、其十分ノ一、三分ノ一ト云フコトガ其貯蓄銀行ナ
リ信託會社ニ必要デアルト云フコトニ御定メニナ^クタト云
フコトデアレバ、一方ノ方ガ國債以外ノ有價證券デ宜イト
他ノ業務ニ付テハ非常ニ制限ヲ受ケナケレバナラヌ、干涉
ヲ受ケナケレバナラヌト云フノデ、先刻モ申シマシタガ、或
ハ保證業ヲ營ム者ハ保證會社トナ^フテ現レル、ソレカラ信託
會社ト云フ名前ヲ付ケタモノハ受託會社トシテ現レル、殊
ニ保證業務ニ付テハ、法律ニ於テモ債務ノ保證業務ニ付テ
ハ命令ヲ以テ之ヲ制限スルコトヲ得ト云フコトニマデ行
カレルヤウニト云フ御趣意ニナッテ居ル、然ルニ保證會社ト
云フモノガ名前ヲ變ヘテ現レ、サウシテ勝手ニ其業務ヲ營
シテ行クト云フヤウナコトニナリマシタナラバ、此法ノ目
的ハ達スルコトハ出來ナイ、又今マデノ信託會社ガ受託會
社ト云フ名前ニ依テ業ヲ營ム、而シテ是ガ銀行類似ノ業務
ヲヤ^フテ行クト云フコトニナルト、是モナカ／＼閑却ガ出來
ナイコトニナル處ガ起ルノデアリマスカラ、成ルベクサウ
云フヤウナコトノ起ラヌヤウニ、先づ信託會社トシテ行ク
方ガ大變保護モアリ重ミモアリ、業務ノ發達ノ上ニモ信用
ヲ高ムル上ニモ便利デアルト云フノデ、一ツデモ多ク信託
業務ノ下ニ立タシムルコトガ極メテ適當ナコトデハナイ
カ、然ルニ段々先刻來申シマシタ通り、ドノ方面カラ見マシ
テモ非常ナ嚴重ナ監督取締ノミデアリマシテ、會社ノ榮養
勝手ニ運用スルト云フヤウナ場合デアレバ、供託金ト云フ
ハ大變違^ツノデアリマシテ、又危險ノ程度モ勿論比較ニナ
ルモノデハナイ、危険ト云フモノハ別ニナイ、貸セナケレバ
貸セナシタケデ濟ムカ知レマセヌガ、別ニ信託會社ガソレ
ヲ受託シタカラト言^フテ信託會社ガ危險デアルト云フコト
ハ大變違^ツノデアリマシテ、又危險ノ程度モ勿論比較ニナ
ルモノデハナイ、危険ト云フモノハ別ニナイ、貸セナケレバ
貸セナシタケデ濟ムカ知レマセヌガ、別ニ信託會社ガソレ
ヲ受託シタカラト言^フテ信託會社ガ危險デアルト云フコト
デハナイカト思ハレマスガ、併シ是ハホンノ一例ヲ申シタ
ノデアリマシテ、他ノサホド面倒ナモノデナイ、信託會社ノ
大シタ知識經驗ヲ必要トセヌモノデ、而シテ實際ニ信託財
産ニ加ヘテ然ルベキモノガママダ多々アル、ヤウニ思ヒマス
其等ハ又追テ御相談ヲ致シマスガ、根本ノ主義ニ於テ其等
ハ少シ御考ガ違^ツテ居ルヤウデアリマスカラ、御考ノ違^ツテ
居ル點ニ付テハ中上ヶマセヌガ、以上申上ゲタ所ニ付テ尙
ホ御説明下サルコトガ出來マスレバ承リタイト存ジマス
○國務大臣（子爵高橋是清君）菅原君ト政府ト少シ根本ニ
於テ相違ガアルヤウデス、政府ハ現在アル五百何十ト云フ

信託會社ト云フモノガ、悉ク是ガ軌道ニ這入テ來ルトハ思ハナイ、又政府ノ考テサウ數百ノ信託會社ガ出來ルト云フコトヲ希望モシテ居ラナイ、寧ロ信用ノ堅固ナ大ナル信託會社ガ數少クシテ嚴重ニ財産ヲ保護シテ吳レルト云フヤウナモノ、成立ヲ希望スルノデアリマス、其故ニ今五百何十ノ信託會社ガ成立ツヤウニシヤウト言フタナラバ、此政府ノ設ケタ軌道ヲ外レテ行カナケレバナラス、サシテ行カナケレバ目的ヲ達スル譯ニ行カナイ、此法律ガ一度出マスレバ前ニアル信託會社ト云フモノガ合同スルモノモアリマセウ、或ハ轉業スルモノモ出來マセウ、必ズ五百何十ト云フモノガ存立スルガ宜イトハ私ハ思フテ居ラス、サウ小サナモノガ全國ニ出來ル必要ハナイノデアル、支店制度デモ行ク譯デアル、成ルタケ大ナルモノガ出來タ方ガ宜イノデアル、小ナルモノガ數多ク出來ルヨリカ大ナルモノガ少ク出來テ、其信用ガ堅固ニアル方ガ其目的ヲ達スルコトガ出來ルノデアリマス、ソレデ時ニ此軌道ニ這入ルモノハ這入フテ來マセウ、丁度貯蓄銀行ト同ジヤウニ、初メニ貯蓄銀行ノ出來タ當時ノ條例ト云フモノハ、如何ニモ嚴重ニ好ク出來テ居ラノデ、初メハ目的ヲ達シタ、然ニ段々其法律ガ改惡サレタ、ソレデ弊害ガ段々出來テ、到頭今日ニナフテ嚴重ノ取締ヲシナケレバナラヌト云フ端目ニナフテ來タノデアル、併シ今日貯蓄銀行條例ヲ改メス、サウシテヤツテ來タ所ガ合同スルモノガ中ニ多イ、各府縣ニモ唯資金ヲ集メル、預金ヲ吸集スルヲ専ノ目的トシテ行クタモノガ、今度ノ貯蓄銀行條例ニ依ツケレバナラヌト云フ安心カラシテ、多數合同スル、サウテハ、從來ノヤウニ行カナイカラシテ、ソレハ又他日他ノ物ヲシテ大ナルモノニシテ今度ノ條例ニ合ーシタ主義ニ基ク、斯ウ云フヤウニナフテ來タ、此法律ガ出レバ從來ノ信託會社ナルモノモ矢張サウシ云フ風ニ成立ツモノハ、合同ナラ合シテ成立ツ、又サウナレバ力ノアル資本家モ之ヲ後援シテ株主ニナルノデ、危險ノナイモノデアルト云フコトヲ世ノ中ニ示ス、兎ニ角此目的ヲ達スルニハ、財産ヲ持テ居ル者ガ、信託シテ安心ダト云フ安心カラシテ、同シテ成立ツ、又サウナレバ力ノアル資本家モ之ヲ後援シテ、會社ガ益、發達シテ來ルノデ、益、安心ラ共ヘ危險ガナイ、十分政府ガ取締ツテ吳レル、法律ガ取締ツテ吳レルカラト云フ安心カラテ、始メテ財產ヲ委託シテ宜イト云フ事ニナル、信用ヲ本トシナケレバナラス、今在ル會社ガ困ルグランタガ、今度ハ軌道ヲ持ヘル、軌道ノ外ノモノハ禁ジテ差支ナウ、之ヲ何トカ云フモノニシヤウト云フ考ヲ持テハ、目的ヲ達スルコトガ出來ナイ、今マデハ軌道ノナイ所ニ走フテ居タガ、今度ハ軌道ヲ持ヘル、軌道ノ外ノモノハ禁ジテ差支ナウ、或ハ弊害ガ出來タキハ、其時ニ取締ル、是ハ全ク別問題デアラウト思フ、ケレドモ貯蓄銀行ヲ立テタ經驗ニ依リマスト、或ハ無盡業デモ段々小サナモノガ集ツテ大キナ形ガ出來テ、薩固ニナルト云フ様ニナフテ、ソレデ今日此法律ガ出

ルト、此時ニ此五百何十ノ信託會社ガ潰レルトハ思ハナイ、此五百何十ノ信託會社ガ潰レルトハ思ハナイ、此五百何十ノ信託會社ガ潰レルトハ思ハナイ、此五百何十ノ信託會社ガ、全部

原君ト不幸ニシテ私ノ意見ヲ異ニシテ居ルノダラウト思ヒマス

○菅原通敬君 大藏大臣ニ御諒承ヲ願テ置キタイノハ、度々繰返シテ居リマスガ、今日ノ五百何十ノ信託會社ガ、全部マスガ、名ハ信託會社ト言フテ宜イノデアリマスガ、實ハ之ニ伴フテ居ラヌカラ、社會ニ害ヲナスモノデナイカト考へル、大ナル會社ニシテ存在シテ居ルモノデアリマスカラ、安心シテ人ガ財產ヲ預ケルダケノ信用ガ出來マスガ、此點ニ付テ少シク私ハ菅原サンノ御考ト根本ニ於テ達フテ居リハセスカト思フ、ソレカラ政府ノ國債ニ限ルト云フノハ分ラスト云フガ、是ハ矢張信用ガ大事ト云フ所カラ來タノデ、英國ノ「コンフィデンス」會社ハ、矢張英吉利ノ會社ニナフテ居ル、ツイ南阿戰爭ノ際ノコトシタガ、如何ニモ「コンソル」公債ガ少ナクテ、信託ノ行使物ニ付テ公債ガ少ナクナフテ居ル、僅ニ一分五厘ノ公債百磅ノモノガ百十七磅ニシカ行カナイ、信託會社ハノレガ不利益ダト云フノデ、四五年掛テ議會ニ建議ヲシタリシ結果、遂ニ倫敦ノ市債ダケハ加利ノヤウナ状況ニナフテ來タラバ、ソレハ又他日他ノ物ヲ加ヘルト云フ時機モ來マセウ、先づ英國アタリニ實行サレテ、漸ク市債ヲ加ヘルト云フ位ノ程度ニ進ンダモノデアル、我國ニ於テモ、何レノ時ヲ亦サウ云フ國債ニ限ラズ、他ソル六公債ニ限ラトテ今言フ通リ一分五厘ノ公債ハ百磅ノモノガ百十七磅ノ相場ニナッタノデ、五箇年掛テ議會ニ建議シテ、漸ク市債ヲ加ヘルト云フ時機モ來マセウ、先づ英國アタリニ實行サレテ來タ様子ヲ見マスニ、永年ノ間南阿戰爭ノ際ニ先づ「コンソル」公債ニ限ラズ、他モノノ適用ヲ離レテ、サウシテ獨立シテヤツテ行クト云フコトガ出來ルノデアリマスガ、ソレハ大藏大臣ニ尙ホ御伺ヒ申ドウカ、ソレデアリマスカラ、名前ヲ變ヘテ信託會社ト云フスカラ、株主ヲ作ルト云フノ必要ガ起リマス、又其信託會社ハサウデアリマスガ……信託會社ノ業務ノ半以上、或ハ大部分ト云フモノハ、信託會社トシテ營ムコトガ出來ナイ、而シテ其業務ヲ營ムニ付テハ資本ヲ多クシテ信用ヲ高メテ行カヌケレバナラスカラ、株主ヲ作ルト云フノ必要ガ信託會社ハソラケレバナラヌノハ先刻申シマシタヤウニ銀行類似ノ業務ヲ營ムトカ、或ハ保證業ヲ營ムト云フヤウナモノガ信託會社ノ看板ヲ外シテヤルモノデアルトシテ、ソレガ世ノ中トガ出來ルノデアリマス、ソレハ大藏大臣ニ尙ホ御伺ヒ申サウケレバナラヌノハ先刻申シマシタヤウニ銀行類似ノ業務ヲ營ムトカ、或ハ保證業ヲ營ムト云フノデアリマスカラノ有價證券モ入レル時期ガ來ルカモ知レマセスガ、初メヨリ之ヲ決メルノハイカスト思フ、兎ニ角國債ハ國ノ借用證文デアリマスカラ是ヨリ確カナモノハナイ、潰レバ、バ國ト共ニ潰レル、自分ノ財產ヲ確實ニシテ行カウト云フニハ、國債ト云フモノガ一番確カデアル、先づ私ハ斯ウ考ヘテ然ルベキモノノト思フ、根本ノ違ヒト云フモノハ、今中ス通り法律トシテ制定セントスル趣意ハ、以前申シタ通り現在有ル五百何十ノ會社ノ事情ハドウデアラ

○國務大臣(子爵高橋是清君) 銀行類似ノ業ヲ營メバ其預金ヲ取ルトカ、何トカ云フコトハ、ソレハ法律ニ依テ取締レル、又法律ヲ潜テ害ラナス者ガ出來レバ、ソレハ新ニ其害ヲ除クダケノ法律ヲ持ヘテ行カナケレバナラヌ○菅原通敬君 併シ現ニ今ヤツテ居ル者ガ現實ニアル、將來無盡業ノ取締ヲシタ時ト同ジヤウニ、小サナモノガ固ツテ大ナルモノニナフテ軌道ニ從テ信用ヲ博シテ行クコトニナラウ、軌道ニ乘ツテ居ラヌモノハ他ニ轉業ヲスルダラウト、大體考ヘテ居リマス、議論ヲスレバ色ニアリマセウケレドモ、ナラスノデアル、又銀行類似ノ業テナク、何カ外ノ業デヤラウト思ヘバ、ソレハ自由デヤルコトガ世ノ中ニ害ニナレバ、ソレハ又取締ラナケレバナラヌ○委員長(伯爵兒玉秀雄君) ソレデハ今日ノ質問ハ是デ終シテハ此邊ノ處ガ最モ妥當ノコトデアラウト思フ、私モ中ニ居テ調査シテ見テ居ルノデアリマスカラ、法律ノ中ヲ能ク知フテ居ル、其出發點ガ遠フト云フノデアリマスカラ、菅

午後四時十二分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵兒玉
副委員長 菅原
委員 子爵八條

秀雄君
通敬君

隆正君
良平君

岡田
横山

男爵長松
男爵藤村

篤義君
邦憲君

三郎君
吉郎君

千吉郎君
吉郎君

篤義君
邦憲君

三郎君
吉郎君

吉郎君

國務大臣
政府委員

大藏大臣 子爵高橋
大藏省銀行局長 黒田
大藏書記官 保倉
司法省民事局長 池田
司法省參事官 三宅
正太郎君

英雄君
熊三郎君
寅二郎君
正太郎君

早川
橋本
倉知
室田

是清君

大正十一年四月十日印刷

大正十一年四月十一日發行

貴族院事務局

印刷者 印刷局